SDC

エスディーシー

Dive Freak Magazine

2003年1月 16

CONTENTS

くたびれないダイバー（器材管理の心得１）
（柳田満彦） 2
楽しかった伊豆・伊東ダイビングツアー
（横井泰江） 3
くろーずあっぷ･ひと（インタビュー）
（狩野幸繁） 4～7
フィリッピンダイビングの手配
（藤本広子） 7
シパダンダイビング紀行 （石岡弘至） 8～9
大満足・大赤恥・大激怒の伊豆大島ダイブ紀行
（堀田泰正） 10～11
大島竜巻体験記 （芳賀幸子） 12
慰める会 （大隅照子） 12
串本ダイビング＆カヤックツアー
（芳賀幸子 ） 13
念願かなったシパダンツアー （石川勝） 14
散骨お楽しみ「宮古ツアー」（金井達雄・森重美智子・酒井富義・高橋忠行・笑子・本橋豊他） 15～17
フリーウエイツーリスト（広告） 18
散骨を語る会便り （池田宮子・大隅照子） 19
私のダイビングとの出会い （小野忠雄） 20
シパダンからシパダンへ （長野恭子） 21
ログブック欄外記「デラワン」
（浅原昌子） 22～23
ダイビングと健康に良いことを （杉江清） 24
パイナップルツアー（広告） 25
SDC ツアーに思うこと…リーダー編
（リーダーを経験された皆さんの声） 26～27
石垣ツアー報告 （松山順子・犬山恵子・社領洋平・福島なるみ他） 28～29
SDC ツアー計画一覧表 30～31
宮古島クルージング （野崎光子・関川清一） 32
一見、危なかった話（洞窟）
（阪上洋） 33
YA プランニング（広告） 33
クラブ・ノア（広告） 34
SDC 賛助会員通信 35～37
出会いのこと （上村敏郎） 37
新会員紹介 38～39
ヴィンテージな会に参加して
（島津眞佐子・国崎康夫） 40
掲示板 41~43
表紙に寄せて（通山多恵子） 44
SDC の紹介と入会のご案内 44
編集雑感 44

くたびれないダイバー」連載４　器材管理の心得１

（ナッソー・ガイド、賛助会員）　柳田　満彦

今回はダイビングに欠かせない器材の管理についておはなしをいたしします。まず、最近のダイビング器材はどれも本当に良くなりました。国内での販売品なら私達プロもかなり信頼をして使っています。とはいえ使うのはほんの一瞬、あとは長い時間しまい込まれるのがダイビング器材の宿命ですからどんなに良い物でも保管が悪ければ傷みます。使わない時の上手な保管方法をお教え致しましょう。

① ５点セットの正しい保管

マスクはケースに入れて保管します。シリコンやゴムは特に空気の動くところが苦手ですからマスクはモチロンのこと、スノーケルもマウスピース周辺部分にカバーを掛けましょう。フィンはネジレないように平らなところに１枚づつ置くのがベストですがスペースが足りない場合は同じ向きに２枚重ねて置きます。私の場合グローブはフィンのブーツポケットの中に、また、ブーツは園芸用の網を筒状に巻いて足首部分に入れると変形しないのでそうしています。シリコンは色移りしないよう色の事なる物同士は、くっつけないようにします。

② ＢＣとレギュレーターの正しい保管

その前に水洗いはちゃんとしましたか？塩分は作動不良の直接の原因になりますし、確実に器材の寿命を縮めます。我々プロが気を付けることは乾く前に水洗いをすることです。いちど器材が乾いて結晶してしまった塩はちょっと落ちにくいですよ。それから、レギュレーターのホースの付け根に無理なテンションをかけないように、軽くまるめてしまいます。ＢＣの浮き袋部分にかたくて尖ったものがあたらないように気をつけます。

③ スーツの正しい保管

サイズのあったハンガーで吊しておきます。ビニールや布のカバーを被せておけば更にヨシ。風や特に日の当たらない所で保管してください。長い間の折りたたみや床に置いたままにしておくとゴムがつぶれてスーツがペシャンコになってしまいます。ＰＰ衣装ケースが便利。私はホームセンターでよく売っている半透明のＰＰ（ポリプロピレン製）衣装ケースに、スーツ以外の物はまとめて収納しています。フタがついていますから、ホコリも入らず清潔です。さらに中の空気が動かないので、ゴムやシリコンも長持ちします。劣化を防ぐ意味で、内部はあまり乾燥し過ぎないようにします。これでひとまず安心。それでは器材さん、おやすみなさい。

楽しかった伊豆・伊東ダイビングツアー

354　横井　康江

中部地区、石岡様にお声を掛けて頂きまして、伊東ダイビングの参加となりました。浜松のダイビングショップでは、伊豆は殆ど潜っていますが、伊東の五島根は初めて。

リーダーの良縁寺さんについては、会報の上ではよく存じ上げていたのですが、今回のツアーが初対面。どんな方かしら…。そして五島根のダイビングは…。期待とチョッピリの不安を胸に、石岡さんの車に便乗させていただいて一路伊東へ。ところが逸る心とは裏腹に、沼津インターで渋滞に遭ってしまいやっとの思いで着いた伊東では、一足遅れ。

ボートは出港した後、石岡さんと二人でガックリ。まっ、いいか。午後一本と明日があるさ。と、無理やり納得させる。（くやしい）

全員で昼食のお弁当を頂き、待ちに待った二本目（私は一本目）。実は風邪を引いていて咳が出て不安だったのですが、ナッソーのイントラ柳田さんや、参加者の皆様方の優しい励ましを頂いて、決心がついて潜ることになりました。

陸上では快晴なのに、海の神様はちょっぴりご機嫌が悪く、透明度はいまいち。海中で咳がゴホ・ゴホだったのだが、ソフトコーラルが素晴らしいので、満足のダイビング。

ダイビングが終了し陸上で待っていたのは、ナッソーダイブ・イントラの柳田さんの心尽くしの良く冷えたスイカ。参加者はお礼もそこそこにかぶりつく。美味しかったー。

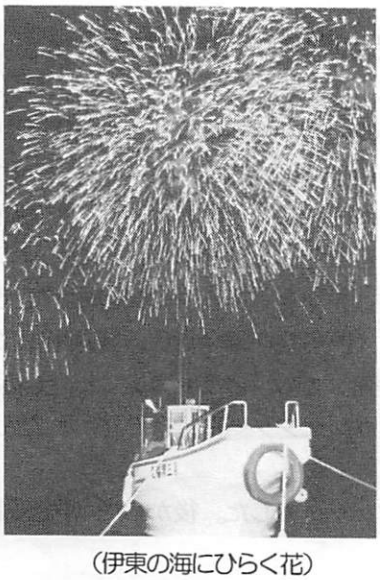
全員で宿泊先の「民宿はるひら丸」へ。漁師さん経営なので、新鮮な海の幸が盛り沢山。そしてお決まりの酒盛り、ノミニケーション。この時初めてリーダーの良縁寺さんと接して（着いた時は挨拶のみ）とうに名は体を表すの諺どおり、全ての方に良い縁を持たして頂ける、気さくで気取りの無い親しみのあられる、リーダーとして最適な方と感じ、今回初めてお会いした方とは思えず、親しくお話をさせていただきました。

夕食後、伊東在住の鈴木さんの心尽くしのお手配のお陰で心と腹に響き渡る、花火と太鼓を堪能させて頂きつつ宿館へ。夏休みとお祭りとが重なり、民宿は大賑わい。その為男性・女性は各一室づつ。蒲団が重なって敷かれ、セピア色した遠い昔の修学旅行を思い出しつつ爆睡。

翌日８月１０日は赤沢ポイントへ。一本目・イボヤナギ、二本目・クマノミ。海の神様はヤッパリご機嫌斜めで昨日と同様の透明度だったが、私の大好きなイザリウオ、クマノミが見られ満足。

☆　今回のツアーで思えたこと

SDCの方々はパワフルな人生を楽しむ達人ばかり。私も皆様方を見習って行きたいと心より感じた次第です。あっという間の楽しい二日間。リーダーの良縁寺さんをはじめご参加の皆々様、お世話になり有難うございました。



（伊東の海にひらく花）

（ナッソーの差し入れの西瓜にばくついて）

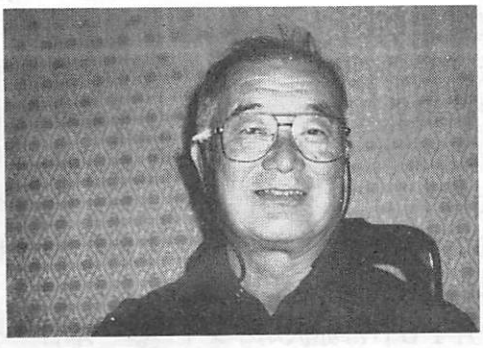
（参加者）　026 良縁寺　197 宇留賀　357 佐藤　364 百野　006 大隅　007 大西　356 栗本　018 坂東　434 百瀬　293 小野　426 寺島　193 北島　129 鈴木　287 石岡　354 横井

くろーずあっぷ・ひと

シリーズ第六弾 **地球万歳！**

ガンを「気にせず」、生きています

062　狩野　幸繁さん



もし「ガン」と宣告されたら……。治る確率が高くなってきたとはいえ、やはりショックです。お酒に強く、冷たい海にも強く、テニスで日焼けして、顔の色つやもいい狩野幸繁さん。大腸ガン、肺ガンと２度もガンの手術をしたとは信じられません。

ダイビング本数は１２００本。バディを組ませていただいたときは「超安心」で、テクニックも教えていただきました。狩野さんは、「ガンと上手に付き合っている」というより、「ガンを上手に無視している」というほうがよく似合います。その秘訣をお聞きしました。

◇検診で、大腸ガン発覚！

最初にガンが発覚したのは１９９５年。５８歳で、まだ働き盛りですよね。

K　いまから１０数年前に一時急に血圧があがって、会社の先輩に「日本でトップクラスの循環器の医者がいるから」と朝日生命成人病研究所付属病院を紹介されて、血圧が高くなった原因をいろいろ調べてもらっていたんです。でも、原因が見つからない。ストレスはあるかもしれないが、ほかに何かないですか？　検便でもしましょうかと言われて、血圧なのになぜ検便かはわからないんだけれど、そこで潜血反応が見つかったんです。９５年１２月６日でした。

すぐ大腸にバリウムを入れる注腸検査をしたら、ポリープがあり、内視鏡で組織をとって調べたら、ポリープがガン化していたのが見つかりました。そこの病院は検査だけしかしないので、警察病院を紹介され、９６年１月１１日に手術しました。

ラッキーでしたね。自覚症状はあったんですか。

K　なかったですね。酒を飲んでいるから下痢をしたりするのかなぁと思うくらいで……。会社の健康診断でも検便はさぼってやったことがなかったんですよ。

ガンの宣告はショックだったでしょう？

K　そんなにショックはなかったですよ。写真を見せられて、「腸のここととここをちょん切って繋げればいいんですよ」という説明を受けて、「あぁそうですか」と。１５センチぐらい切りました。全身麻酔だから何にもわからない。痛み止めが発達しているので、麻酔が切れてもほとんど痛くなかったですね。１月２７日に退院して、通常の生活に戻りました。２月末にはテニスを始め、ダイビングも再開して、その年に８１本潜りました。

◇肺ガンの宣告は、ショックでした

約１年半後、今度は肺ガンの宣告ですよね？

K　９７年５月の会社の健康診断で、レントゲンで何か影が見えるから、今後注意して下さいと言われて、先ほどのかかりつけ医に相談しました。そこで確認のためレントゲンをとると、やはり影があって、ＣＴスキャンをとるとはっきりとポリープの突起物が見えたんです。そこで虎ノ門病院を紹介され、８月半ばに１０日間入院して検査したら、どうもガンではないかということで、突然ガンセンターに行けと言われたんですよ。

その時は本当にショックでした。後から虎ノ門病院の

担当医が義弟のテニス仲間だったので、身内並みの扱いにしてくれ、虎ノ門より技術が上のガンセンターのほうがいいだろうということで回してくれたのがわかったのですが、聞いたときは、手の打ちようがないからガンセンターへ行けと言われたと思いドキッとしましたね。

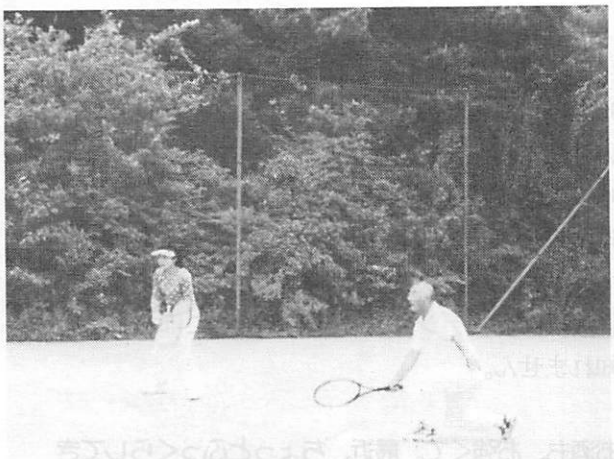
９月１９日に入院して、そこでまた最初からいろいろ検査をしたのですが、どうしてもポリープのできているところの細胞が取り出せず、開いてみなければ判らないとなって、１０月２日に手術をしました。切り取ったポリープの部分の細胞を調べたところ、やはり見立てどおりガンでした。

不安でしたか。

K　肺ガンと言われたときは、大腸の翌年だったし、これは転移している、ダメかなと思ったのですが、医者が「転移ではない、原発だ」と説明してくれたので、一安心しました。

肺は、右側が上から上葉・中葉・下葉、左側は上葉・下葉があるんです。転移の場合は、転移したところだけを切除するのですが、原発性の場合は１つの葉をそっくり切り取るんです。私の場合は、右の上葉をそっくりとられました。人間は、通常肺の機能の６０％を使っているかいないかだそうで、取っても影響はない、テニスをしても全く心配ないと言われました。

１０月の終わりにはテニスをして、１１月初めには潜りに行きました。運動をしても呼吸がおかしくなることはないとわかっていましたが、最初に潜ったときはレギュレーターをくわえて水の中に入るのが、ためらいがあるというか、ちょっと抵抗がありましたね。伊豆の富戸で、ドライでした。



エアーの消費が少ないと評判ですが。

K　前から少なかったんですが、影響は多少あるのでしょうかね。テニスでメチャクチャ走り回されてくると、ハァハァいうのが少し早くなった気はしますね。おかしなことに、肺の手術前には肺活量等の検査をしたのですが、術後はまったく調べていないので、肺活量が切り取った分だけ減ったのかどうかは確認していません。

◇「会社人間」のときも、アウトドア派

テニスはいつからなさっているのですか。

K　中学２年のときから始めて、会社に入った後もずっと続けています。ゴルフをやらなかったから、土日はテニスをできたんです。最初は軟式で、いまは硬式です。なぜかわからないけれど、ちっともうまくならないんです。

そんなことはないでしょう。テニスの魅力は？

K　なんでしょうね。昔はけっこう勝ち負けにこだわって大会に出ましたが、最近は健康のために良い汗をかくことと、気の合った仲間ができることかな。週に４日以上プレーしています。お天気がよければテニスをしていますね。

日焼けして、いい顔色ですね。

K　スキーも山登りもやっていますよ。大学に入ってから、高校の山岳部のＯＢ連中と山岳会をつくって、本格的に登り始めました。冬山も岩登りもしましたが、重力に逆らうことがしんどくなり、海のほうがよくなって長いこと登らなかったのですが、今年からまた登り始めました。西丹沢に登り、屋久島に縄文杉を見に登って、大丈夫そうなので、８月終わりに５泊６日で北アルプスに行きました。これから山登りも少しやるかもしれませんね。スキーは山に登るために始めたものですから、重い荷物をしょって、転ばないで滑るスキーです。

ダイビングはどうして始められたのですか。

K　私は鎌倉育ちですから、海は大好きで、海で泳ぐ怖さはありませんでした。入社後かなり経ってから

大阪に転勤したのですが、大阪では日本海へ泳ぎに行くんです。京都の北側、若狭や小浜などの福井の海はすごくきれいなんですよ。同じ課に漁師の息子がいて、潜ってアワビとかサザエをとるわけ。真似して潜っていると、水の中にもっといたいと思うようになって、すぐにでもカードをとりたかったのですが、家内に「そんなに趣味を増やしたらたいへん」と反対されました。

その後、１９８９年に家内がアメリカに遊びに行ったとき、仕事でハワイにいた弟がダイビングをしていて、「帰りにハワイへ寄って一緒に潜ろう」と言われ、一転して家内のほうから言い出して、一緒にカードをとりました。

猛烈サラリーマンの世代で、営業職なのに、よく土日を休めましたね。

K　仕事のために土日出るということはありませんでしたが、「ゴルフは仕事のために必要だからやれ！」と上司にさんざん言われました。特に大阪に転勤したときの上司はものすごくゴルフがうまくて、部下みんなに半ば強制的にやらせていました。あまりに言うので、その上司と２回ぐらい練習に行くと、うまくボールにあたったので、「いい筋をしているから本格的にやれや」と言われたところで東京転勤。シメシメとまたやらなくなりました。

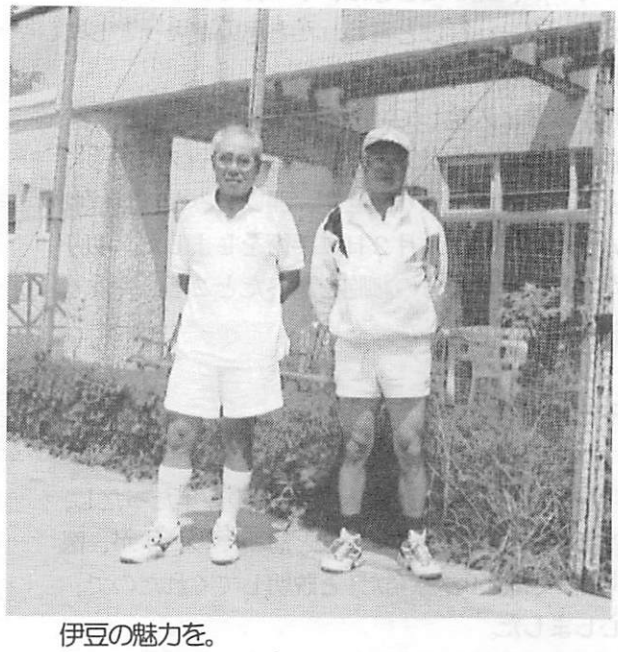
ゴルフをやりだしたら「仕事と称したお付き合い」で土日がつぶれますからね。勤めていた会社は、昭和４０年代後半にいち早く週休二日を導入していたので、土日は自分の時間としてフルに使えましたね。９８年に６０歳で実際の仕事とは縁が切れましたが、定年を２年延長してもらい２０００年３月にリタイアしました。

◇やはりダイビングがいちばん

ご夫妻でSDCの会員ですね。

K　家内は５００本以上潜っているのですが、最近はダイビングよりも野鳥の会に凝っています。私は、今のところダイビングがいちばんおもしろいですね。ダイビングの魅力は、無重力です。中性浮力で浮いているときの快感がいちばん。次が、大物小物を含めていろいろな珍しい魚に出会えること。それから、新しい仲間との出会いがあること。いつも出会いを大事にしたいと思っています。海外には１人で行くことが多いので、そういう時の出会いは楽しみですね。

もうじき１２００本です。１年間に１００本が目標で、伊豆の日帰りを月２回原則として、あとは海外に２～３回行けば、大体目標達成です。



伊豆の魅力を。

K　いちばん魅力的なのは近いこと。とくに海洋公園は地形がおもしろい。魚の種類が多く、岩場あり、砂場あり、サンゴありで。海洋公園だけで３５０本以上潜っています。同じコースを午前と午後潜ってもまるで違います。風景は同じかもしれませんが、出てくる魚が違うのですよ。特に秋から冬の初めにかけては、台風・黒潮の影響で、南の魚の幼魚たちがたくさん流れ着きます。今年も、モンガラカワハギ、ゴマチョウチョウウオ・アブラヤッコ・コクテンカタギ等々いろいろな幼魚が来ています。

いちばん気に入ったポイントを教えて下さい。

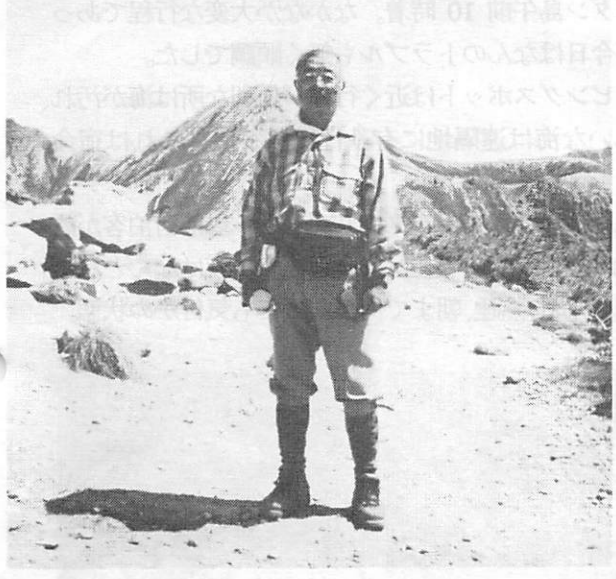
K　その質問がいちばん困りますね。行くところそこなりにみんないいのですが、モルジブのクルージングがいちばんかな。魚影が濃く、リーフあり、チャネルあり、砂場あり、大物に会う可能性は高いし……。８９年にカードをとって、９１年からカメラをもって潜っていますが、良い写真はなかなか撮れないものですね。最近流行のデジカメのほうが撮りこぼしがないかも知れません。

お酒も、お強くて。最近、ちょっとふっくらしてきませんか。

K　このところダイビング、旅行と、外に行くことが多いので、どうしても食べてしまって、少し太って

きましたね。日本酒はおいしいから飲み過ぎて翌日残るので、なるべく敬遠しています。家では、焼酎の一升瓶がだいたい１週間。年とともに弱くなりましたよ。一晩でビール１ダース飲んだこともありましたが、３月に５日間くらいは断酒もしていますよ（笑）。

ガンの手術から5年。健康管理は万全ですか。



K　項目を決めて、毎年必ず検査をしています。大腸ガンは、いまのところ問題ない。肺ガンは６カ月に１回ガンセンターに検診に行っていたのですが、この１０月でちょうど　５年が過ぎ、「合格です、おめでとうございます。もう来ないで結構です」と言われて、逆にがっくりしました（笑）。ガンセンターに通っていれば、安心でしょ。でも、体質的には可能性がありますから、定期検診は受けて下さいと言われています。

ガンに関しては、良い先生に恵まれ、ひょんな事から早期発見もできたし、できた場所もわりと簡単に切除できるところと、本当にラッキーというか、ついていました。

ご経験から会員にメッセージを。

K　定期検診しかないですね。ガンは早期発見が第１です、そのためにも良い先生を見つけることだと思います。私自身は、これからもますます潜りたい。２０００本までは行ってみたいと思っています。

そのときは盛大にお祝いしましょう！　ありがとうございました。

狩野さんとお話ししていると、ガンもごくふつうの病気のように感じてしまいます。それには早期発見が大切。健康であってこそのＳＤＣです。健康には十分注意しましょう。（まとめ・清原れい子）

フィリッピン・ダイビングの手配

374　藤本　広子

7 月中旬、大きな台風の間を縫ってフィリッピンのドマゲッティに行ってきました。雨季のためか透明度はそこそこでした。よく見られる明るい、済んだ青の中に色とりどりの色鮮やかな珊瑚が手招きしているのとは、程遠かった。

デジタルカメラを初めて手にした私が選んだダイビングポイントは、あの美しい黄金の三角地帯セブ、スミラン、ドマゲッティでした。

しかし、それなりに静かな全体を見渡すと、どこかのどかな人懐っこい柔らかな海でした。細かい魚影がとても濃かった。

2 日目に立ち寄ってお昼を食べたアポ島の出来事が心に残りました。住民と会話し子供たちと遊びまわっていて、どうも子供たちがひと回り小さいのでは？赤ちゃんを抱いていたお母さんが「この子、虫に刺されたの。とても痒がっているの。」見ると刺されてところが掻き毟って広がっていました。何か栄養が足りないのではないかしら･･･？

この時は再びダイビングを楽しんで帰ってきましたが、何か心に引っかかるものが有りました。

８月再度訪問。これも大型台風の間をくぐってドマゲッティから手の届く南側の島、ミンダナオ島に上陸しました。今度は日本フィリッピン国際ボランティアの一員として、ダバオの町から離れた小さな部落の小学校を訪問して、校長先生と会話し、何がいちばん不足しているかディスカッションして「教科書が」ということで、滞在している間のうちに 250 冊作り上げ最後の日に手渡すことが出来ました。

そう、一人では出来なくとも仲間が居ました。高校生、大学生、社会人等々素晴らしい仲間が集まりました。

次の日は、やたらに斬られている森の緑の復元に走りました。ジャングルの中を駆けずり回って、緑の苗木を現地の子供たちと、あっちこっち植林しました。

極め付きは村の診療所。栄養が行き渡らない子供からお年寄りまでの中に入って、チョコレート入りのお粥を配りました。とても喜んでいて、その顔が今も目に浮かぶようです。これからも、ダイビングの間には、村の人、町の人、離れ島の人、色々な会話をしていきたい。これが私のこれからのダイビングのやり方となるでしょう。

しみじみと感じ取った一ダイバーの呟きでした。

シパダンダイビング紀行
マレーシア・シパダン島クラブツアー

2002年10月21日~28日（8日間）

リーダー：304　小野　忠雄　　レポート：287　石岡弘至

初めてのシパダン、噂に名高いダイビングスポット、一度は行ってみたいと思いながら、誘拐事件や航空便の悪さで実行を迷っていました。

今年に入り成田空港の暫定第二滑走路が完成、マレーシア航空も大幅増便で成田空港とコタキナバルを往復できるようになり又、現地治安も回復の情報もあり、やっと実行しました。

10月21日（月）11:30分参加者16名成田空港集合。

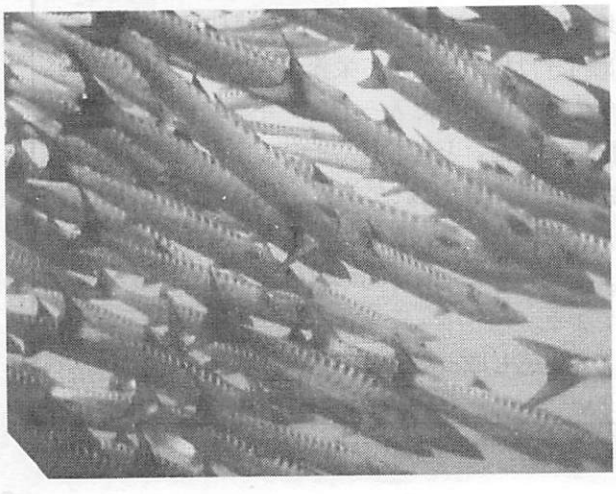
マレーシア航空の機内預け荷物の重量制限が 20ｋｇの為、事前に旅行社へ¥5,000を支払い「ボルネオ倶楽部」の入会カードを取得、これで10ｋｇ超過の 30ｋｇの筈であったが、何と9月よりダイビング器材を含む機内預け荷物はカードが無くとも 30ｋｇ迄に変更となり、カードを作成した人も何とか手持ちで20ｋｇに抑えた人もガックリ。情報不足で誠に申し訳御座いませんでした。

13:30分予定通り離陸、一路コタキナバルへ、空路5時間半、時差1時間の現地時間午後6時着。迎えのバスでホテルへ。フロントで部屋割り。ホテル側が指定した部屋リストをチェック、やはりシングルとダブルが混同、何時もの事ながら今回は危うい所でセーフ。

一難去って又一難、今度は明日朝の出発時間がフロントへ連絡無く、現地連絡先は電話が繋がらず困った。しかしＳＤＣは人材豊富、英語の話せる方により解決。

何とシパダン島のホテルでここよりの送迎を行ない、出発は早朝5時と分かりやれやれ。翌22日早朝5時、バスで空港へ。国内線で空路1時間タワウ空港へ。

到着後で迎えのバスでセントポールナ港へ陸路1時間。ここより高速艇で海路1時間。



シパダン島午前 10 時着。なかなか大変な行程であったが今日はなんのトラブルも無く順調でした。

ダイビングスポットは近く行程が便利な所は海が汚れ、きれいな海は遠隔地に有り行程が不便、これは宿命か？

ホテルはプロウ・シパダンリゾート、以前宿泊客が誘拐されたホテル。現在は安全というが夜はなんとなく不安。しかし熟睡、朝まで何があっても気付かぬ状態。

全室高床式のオーシャンビューであるが室内はお粗末、自然派のリゾート。

海亀の孵化場・大トカゲの棚無し飼育場付。昼間は大トカゲが徘徊し、夕方は子ガメの放流で毎日多数の見学者が訪れ賑やか。

11時30分よりリゾート前のハウスリーフで8名ずつ2組に分かれてチェックダイブ。

雨季のため透明度5~7m程度、軽く終了。昼食後今日はのんびり休憩と思ったが、さすがシパダンに来た以上潜らす。

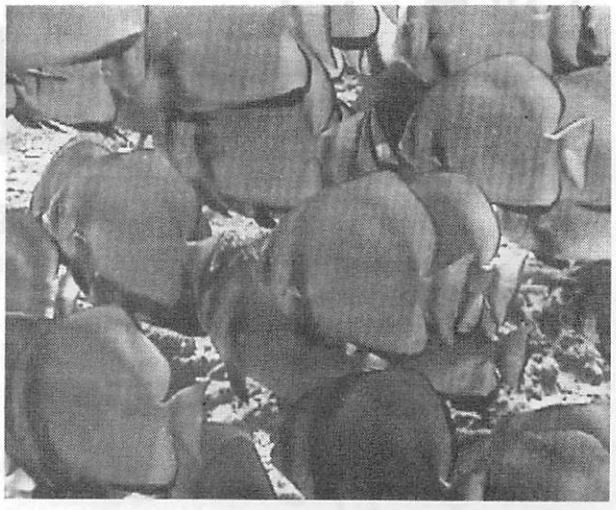
午後3時よりファンダイブ。今回もＡとＢの8名宛2組に分かれてボート2艇でバラクーダポイントへ。

水深 25mよりドロップオフを徐々に浅い方へドリフト。透明度は良くなり 15m程で、バラクーダの大群が正面よりゆっくり来るのが見える。そしてご対面。

Ｂグループ8名。流れがあるため岩につかまりご挨拶。

ここのバラクーダは形が大きく、数が多い為人見知りせず、直ぐ近くによって来て我々を観察しているよう

に思えた。
今日はチェックダイブの為カメラを持参せず残念。この後、今度はギンガメアジの回遊、暫し見とれる。
潜水時間 45 分であったが初日より、すごいシパダンの海に感動。明日より 4 日間のダイビングが楽しみとなりました。
10 月 23 日 7：00 より朝食、1 本目は 8 時 30 分集合ブリーフィング後、B 班は又々バラクーダポイントへ、昨日と同じコースを、今日もバラクーダのお出迎え、写真撮影。この後ギンガメアジの群を撮影、フィルム終了。潜水時間 45 分でした。
2 本目は 11：00 より、3 本目は昼食後 15：00 より。プロウシパダンでは通常 3 ボートダイブに早朝・サンセット・ナイトのビーチダイブで、1 日最大 6 ダイブが可能であり、計算上はこのツアー5 日間で 26 ダイブが出来るが、のんびりダイブの我々は最大潜った方で 19 ダイブ、平均は 15 ダイブとなりました。
10 月 25 日、1 本目はカンムリブダイ（バッファロー）の群を見るため早起き 6:00 集合。A と B に別れ出発、私たち B 班は運悪くドロップオフ上部の 3 匹を下より見られたのみ。
A 班はさすがベテランガイド、数百匹の群を間近に発見。正にバッファローが音を立てて行進しているようで素晴らしい光景であったとの事。朝食時に、この話で盛り上がり我々 B 班を悔しがらせました。
又本日は参加者百瀬由美子様の誕生日。夕食時に何と東京の息子さんより誕生祝の花束と大きなバースデーケーキが届き一同感激、急遽誕生祝のパーティーを実施しました。
ギンガメアジの群は毎日、バラクーダの群は 3 日間、ツバメ魚の群は時々、カメは潜るたびいたるところに、ナポレオンも散見、さすがシパダンは大物スポット。
毎日潜っていても飽きない海でした。



10 月 27 日。昼食後 12：20 分、一路長い道程の帰国の途に。18：00 コタキナバル空港着。翌日 0：30 分発の成田便搭乗迄 6 時間半待ち。ゆっくり夕食と思っていたが田舎の空港。まともな食堂が無く、当てが外れる。又エアコンが効きすぎ寒い。悪い事に成田便出発が 4 時間遅れるとの放送があり、楽しんだ後の帰りは大変であった。
成田空港 3 時間遅れの 10：00 着、無事終了、再会を約し解散。参加者皆様楽しい旅を有難うございました。
参加者：16 名
江田尚子・立花佐知子・江田隆・吉崎和子・原勝代・福田孝子・日置恵夫・永松輝夫・松田直彦・石岡弘至・小野忠雄・河原信子・百瀬由美子・川畑和弘・横井康江・三宅尚

大満足・大赤恥・大激怒の伊豆大島ダイブ紀行

277　堀田　恭正

宇留賀さんにご案内をいただき、戦後最大級といわれた台風一過の10月4・5・6日、行って参りました、秋の移動性高気圧に覆われた晴天の伊豆大島へ。

実は、恥ずかしながら齢65歳にしてこの近場の伊豆大島へ行ったことがなく、ただなんとなく♪アンコー椿の～・・・とか、♪波浮の港は～・・・などというメロデイが頭に沁みこんでいたせいか、知っているつもりで、つい訪れることが無かった訳です。さて、結果からいうと表題のとおりで、以下その詳細を記します。

大満足 その①　ニタリと海亀

宇留賀さん、今澤さん、坂東さん、塙さん、私の計5人が合流し、グローバル・スポーツクラブで荷物を開けるのももどかしく、快晴の｛秋の浜｝にエントリーして間もなく、前方を大きな黒い影が横切りました。行ったり来たり、悠々と泳ぐ姿は圧巻で、滅多に見ることのないニタリと判って私たち5人は、ただぼう然としてその長大な尾鰭とまん丸な目に釘付けになった次第です。磯に戻ってから、他のダイバー諸君の「ニタリを見たって！」という嫉妬と羨望（という風に見えた）の目が心地よく、大満足でした。（結局その後ニタリはどこかに行ったようです。）3日目の｛ケイカイ｝では、澄みきった海底で魚の大群の中をゆったりと泳ぐ亀を見て、またまた大満足でした。

大満足 その②　ナイトダイブ

私はかねてから、「夜の海底は？ 魚の寝ぼけ顔は？ ライトの照らし具合は？ その他色々と ？」があり、悶々としていました。確かにその手の記事もあり、人の話も聞きましたが百聞一見で、機会があればと願っていました。塙さんとなんとなくそんな話をしたところ、彼女は2～3回体験していて、「でも又潜ってみたい」。彼女の気が変わらぬうちに、ではではと早速、宇留賀さんに聞いてもらったところ、ショップでは20時出発でOKということになり、柳場インストラクターに伴われ二人でナイトに出かけました。
ライトにくっきりと映しだされた夜の海底のなんと美しいこと、魚たちの寝ぼけ顔の可愛いこと、全ての ？が解き明かされ大満足でした。初体験というものは何事にしろ良いものだと改めて思いました。エキジットして見上げた夜空に満天の星があり、やや傾いた「W」のカシオペア座の五つ星が、ひと際明るく輝いていました。

大満足 その③　透明度

次の日、｛ケイカイ｝を潜りました。岩場に沿って渦を巻く潮目があり、底潮のなんと早いこと。岩につかまって匍匐前進しながら吐き出す気泡が、殆ど横向きに流れていくのです。でもその透明度は、ここが東京からわずか1時間余りのポイントか？と思うぐらい澄んでいて、底潮を避けて窪地の岩陰に群れる大小様々な魚の大群に囲まれ大満足でした。

大満足 その④　先着の2人の美女に加え、更に美女4人の合流

今澤さん塙さん、更に1日遅れて大隅さん西村さん芳賀さん高木さんと、なんと計6人の美女が行動を共にすることとなり、盛り上がって大賑わい、大満足でした。因みに美男は3人でした。

大満足 その⑤ 同行の人たち

宇留賀さんの気配り目配りには敬服しました。自主責任とはいいながら、私のように初めての慣れない者に、よく気配りして頂き素敵なツアーの思い出が出来ました。バデーをしていただいた坂東さんには、エア減りの早い私の残圧を常に気をかけていただき、安心して楽しめました。また美女の一人、芳賀さんが200本となり、和気藹々と皆でTシャツに寄せ書きをして祝いました。ショップの柳場さんもベテランのインストラクターで気配りが良く、事前のポイントやその他の説明も、要領を得ていて判り易く、安心して楽しく潜れ、総て大満足でした。

次は大赤恥ですが、どうせそのうち判ることだからと、敢えて自分で暴露することといたします。

また、初めて大島ダイブに行かれる方の参考になればと思い、清水の舞台から飛び降ります。１日目２本潜ったあと、港を見下ろす「浜の湯」に行きました。入り口に、「ウェットスーツの人はよく砂を落として云々」と注意書きがあり、その他の貼り紙もあったのですが、ろくに全部読まないで、１００円ロッカーにごちゃごちゃ荷物を突っ込み、海パンをぬぎ、裸になって脱衣場の戸をガラリと開けました。先入観で、露天風呂の中は当然、壁か塀があり、男女別になっているものとばかり思い込んで小さなタオルを片手に持ち、大手を振って入ったところ、先に入って首まで湯に浸かって目をほそめていた宇留賀さんがこちらを見るなり「海パンを穿いて ！ 」と叫びました。事情を素早く察知した私は慌ててタオルの位置を前にし、後ずさりしながら大急ぎで脱衣場に戻ったのですが、時既に遅く、数秒間、衆人に上から下まで全てを曝け出した次第です。初めての伊豆大島「浜の湯」とはいえ、赤面のいたりでした。

最後は大激怒です。２日目、３本潜ったあと同じく夕暮れの「浜の湯」に行き、眼前に広がる太平洋に沈みゆく夕日を見ながら、充実した清々しい気分で湯に浸かっていたところ、なにやら訳ありげな怪しいカップルが、ワインとくび長のチュウリップグラスを携えて入って来ました。直ぐ傍の子供のいる家族連れや我々の視線も意に介さず、２人はいちゃいちゃしながらワインを飲み始めました。私は何が嫌いと言って、ルールやマナーを守らない輩ほど嫌いなものはないので、アドレナリンが沸々とたぎってきました。するとそこへ入り口に居た切符係のおばさんがやってきて、「ここでコップや瓶が割れたら危ないので飲酒を止めるよう」に注意しました。カップルが反発したらおばさんに助太刀しようと構えていたら、ワインは渋々止めたのですが、テキは今度はいちゃいちゃの方に専念する作戦に変えたらしく、更に複雑に密着しエスカレートしていくようなので、清々しい気分はどこへやら、もう風呂からあがることにしました。服に着替えて外に出たら、あの切符おばさんがいて、いちゃいちゃに見かねて、あらためて「あんた達のまわりには子供も居ることだし、そんなことはホテルに帰ってからにしなさい」とたしなめたそうです。以上が大激怒の顛末です。帰って土産話のとき家内にこの話をしたら、「そんなことは放っておけばいい」というのでまたまた激怒してしまいました。

なにはともあれ、大満足・大赤恥・大激怒のツアーでしたが、雲１つない晴天に恵まれ本当に楽しく、心にのこる伊豆大島ダイブ紀行でした。同行の皆さん、有難う。(宇留賀・坂東・大隅・西村・今澤・高木・芳賀・塙・堀田)

追記。大満足で私たちが帰ったあと、残った方々が竜巻に遭遇されたことを知り大ショックでした。幸い皆さん軽傷で無事帰られたとのことで安心いたしました。従ってこの稿に「大ショック」を付け加えさせていただきます。

大島竜巻体験記

☆ 225 芳賀 幸子

今年最後のダイビングを大島で潜ろうと、１０月５日から７日までの予定で東京を離れました。
まさか帰る７日未明にこのようなことになるなんて。
６日の夕食まで穏やかな天気だったので、安心して就眠しました。１２時ごろから雨と雷が強くなり、なかなか眠れずにいると嵐はだんだんひどくなり。とうとうカミナリが落ちるような音とともにガラガラッバリバリと玄関のガラス戸が破られました。そして玄関に入って直ぐ横に折れて、廊下の突き当たりに寝ていた私の部屋目掛けて、竜巻が襲って来ました。
竜巻は部屋の入り口のガラス戸を粉々に吹き飛ばし、下から畳を巻き上げ、天井を破って出て行ったのですが、それは後で分かったことで、その時実際には蒲団の上に畳がかぶさり、その上にテーブルが私の蒲団の上に飛んで来ていました。私は屋根が落ちたと思い、蒲団をあげて目を開けて見ると、天井に大きな穴が開いていました。その後、立ち上がり助けを呼んだらしいのですが、とても細い声だったそうです。
翌日部屋の有様を見て、背筋がゾーとしましたが、意外と平静な顔をして、昨日外に干した洗濯物の心配をしたり眼鏡やカメラの心配をすると、Oさんにあきれられてしまいました。

竜巻に襲われた3人

表の様子は又すさまじいものでした。Tさんが借りたレンタカーの窓ガラスは割れて１８０度車が回転していましたし、部屋に掛けてあったウインドブレーカーも木のてっぺんにひらひらと掛かってしまうし、更には別棟の民宿の屋根が飛ばされるという大変なことになっていました。
本当は、昨日２００本記念のお祝いをして頂いたばかりだったので、この落差にさすがの私も、頭がこんがらがってしまいました。
ご一緒された方々にご心配をおかけしましたが、無傷で帰ることができました。大変ご迷惑をかけました。
（一生このような経験をする事がありませんので、書くことにしました）

『慰める会』

☆ 006 大隅 照子

八丈ツアー不成立を慰める会から１ヶ月も経たないうちに、第２回慰める会が恵比寿で開かれました。宇留賀ツアー、狩野ツアーから９名も参加、皆さんの暖かい気持に感動しました。
今澤Kタン幹事の「やろう！」の声、そしてその下働きとして活躍してくれた宇留賀さんの計らいで、おいしくて楽しい会が３時間以上も。
慰める会のはずなのに、話題は大島でのニタリ、神子元でのハンマーの大群・・・と、３種混合、被災者そっちのけで（？）自慢話にも花が咲きました。話が途切れる瞬間は全くなく、あのままおしゃべりしていたらきっと深夜になっていたことでしょう。
災難現場の無残な光景を写真で見せられ、場はいっそう盛り上がりました。
もしかしたら黒枠に入っていたはずのHさんTさん、この日はドレスアップして一際きれいでした！生きていて良かったー！

串本ダイビング＆カヤックツアー

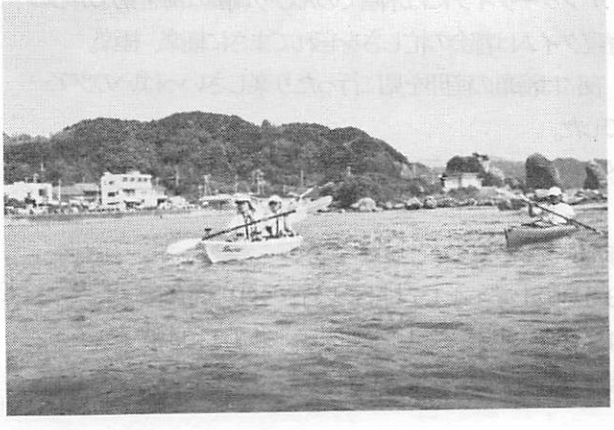
225　芳賀　幸子

９月１１日１９時３０分、川崎を出港、船にて串本に向かいました。船上で各々夕食を取るもの、自宅より持ち込んだ食べ物を開いて食べたりと楽しく９時ごろまで過ごしました。

その後、船室に戻り飲むことにしましたが、私初めて乗ってびっくりしました。２段ベッドになっていて寝台車のようなところでしたので、ゆったりと寝ることができました。

翌朝とてもよい天気で串本につき、鳥飼さんの出迎えの車に乗り込み、途中で朝食をとり宿に向かいました。鳥飼さんのお宿はとても綺麗で、ゆったりとしたお部屋で、又静かな所（周りは何もナシ）でしたが、着くなり早速ダイビングの用意をするために、ショップに荷物を取りにいきました。

港に６時に着き、９時にはダイビングに出発と大変忙しい予定でしたが、１本目のダイビングポイント、住岬に向かいました。透明度も良くゆっくりと潜ることができ、南のほうのお魚が多いのに驚きました。２本目のポイントはランチ後１時にグラスワールドへと向かいました。

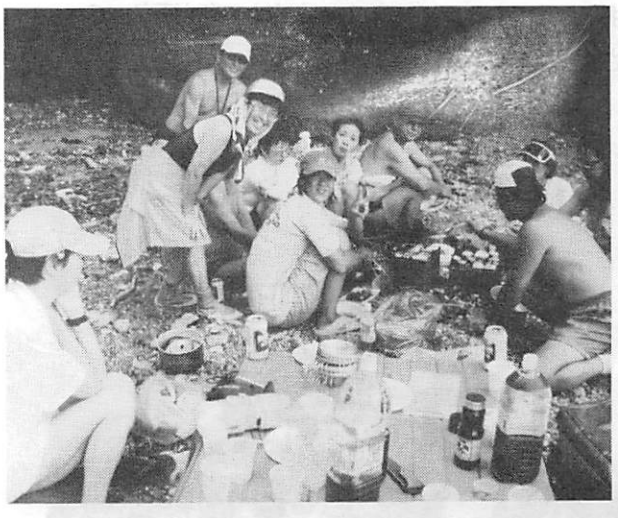


次の日初めてのカヤック。インストラクターに漕ぎ方を教わり、二人乗りのカヤックに挑戦（同乗者は良縁寺さんで、お気の毒）行きは追い風だったので４ｋｍを約５５分で島に到着。お昼までそれぞれ泳いだり、シュノーケルで潜ったりと楽しみました。ランチはバーベキューをしたり（炭が着いちゃったお肉）ビールを飲んだりと、帰りの苦労も知らず過ごしました。

１時頃から島を回って帰ることにしたのですが、風が出たので私たち３艇を除いて他の人たちは来た道を帰っていきました。（中にはひっくり返った人アリ）

そこから私たちの地獄の始まりでした。漕げども漕げども同じ景色。腕は痛いしお尻は痛い。足は短パンのせいで塩が吹いているしと２時間半位かかりやっと到着。他の２艇も同様に疲れたことと思います。予定より遅れること１時間後、待ちに待ったお風呂タイム。場所は丘の上のホテルの露天風呂でした。とても眺めがよく、焼けた身体をゆっくりと休めることができました。

翌日のダイビングが辛いだろうと思いましたが、露天風呂のおかげで体力は回復し、２本潜ることが出来ました。途中勝浦でお風呂と夕食を取り、夜行バスにて



東京に帰ってきました。

今回のダイビングで感じたことは、やはり温暖化が進んでいると思われ熱帯魚が多くなり、珊瑚も増えているように見えました。

今回のツアーを計画して戴いた良縁寺さん、お宿を提供してくださいました鳥飼さん本当にお世話になりました。又ご一緒できればと思います。

念願かなったシパダンツアー

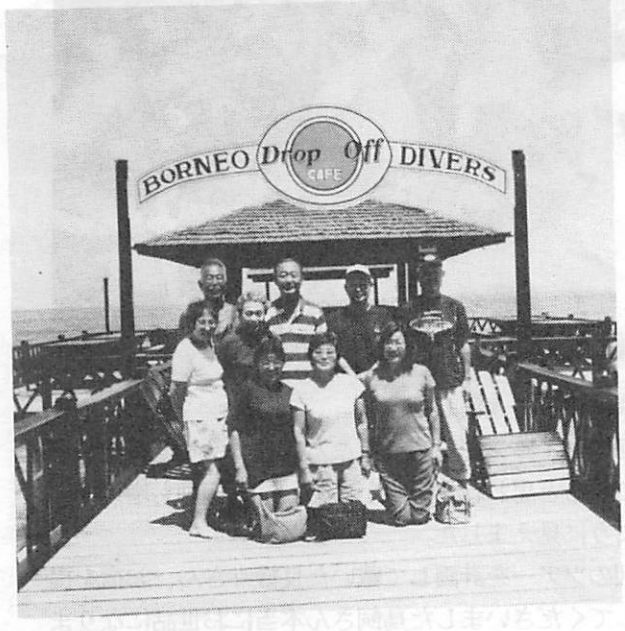
2002年10月24（木）～30日（水）　7日間

リーダー：　333　阪上　洋　　レポート：　440　石川　勝

海ガメとドロップオフの島、ギンガメアジやバラクーダの大群、ダイバーが一度は訪れたいと願う聖地、ダイビング雑誌の写真を見るたびに憧れ3年前の夏に予定していたツアーが出発の1週間前にアキレス腱を切る大怪我をして断念した悔しい思いがあり、今回やっと念願がかない喜びにワクワクしながら出かけました。

今回のリーダー阪上　洋氏はシパダンの事なら“何でもまかせろ”食事の事からお土産の世話はもちろん、海に入ればガイド顔負けの博識でレクチャーを毎日楽しく聞かせてリラックスさせてくださいました。そんな心強いリーダーといざエントリー、その海はまさに竜宮城の世界、間近に見える海亀と目を合わせながら上を見ると、ギンガメアジの大群が私達を歓迎するかの様に迎えてくれました。

その日、夕食を食べながらリーダーいわく、亀の甲羅の模様に“孫悟空の乗るキントン雲の形をした模様を見たこと有りますか”と言われ一同？？？、翌日早速観察して見ると何と、あったんですよ、さすがに細かな事まで良く観察している、さすが、シパダンですね。



桟橋で記念撮影

バラは何処に行った、バラは何処に行った、毎回ギンガメは歓迎してくれるけれどいくら探してもバラクーダが現れない、前回は見られたのに今回はなかなか姿を見せない、リーダーは何とか皆に見せようと眠れぬ夜を過ごされたとの事で、待望のバラの大群、最終ダイブのエキジット時に「塔」の形になって現れ大歓声を上げて感激しました。喜びは最後に残して置いてくれたんですね～。

両手に花のリーダー

大きな渦を巻いて現れるギンガメやバラクーダーの大群、色鮮やかなコーラルフイッシュ、目の前を悠然と泳ぐ海亀、島の前に広がるドロップオフ等シパダンの海に魅了させられましたが、リピーターのお話ではバッファローフィツシュやハンマーヘッドが最近は見られなくなったと残念がっていました。

アフターダイブには木陰でのんびり綺麗な海を見ながらの昼寝タイムは都会の忙しさを忘れてまさに極楽、極楽。

夜にはお海亀の産卵を見に行ったり楽しさいっぱいのツアーでした。

メンバーの皆様大変お世話になりました。

参加メンバー

３３０阪上洋　４１７村上あい子　３９３高橋肇

４７２高木忠雄　２４７長野恭子　４１１須永勝子

４１６芦野みどり　４４０石川勝　４３６志村秀子

散骨下見お楽しみ「宮古ツアー」

リーダー：006　大隅　照子
レポート：390　金井　達雄　　188　森重　美智子
326　酒井　富義　他

390　金井　達雄

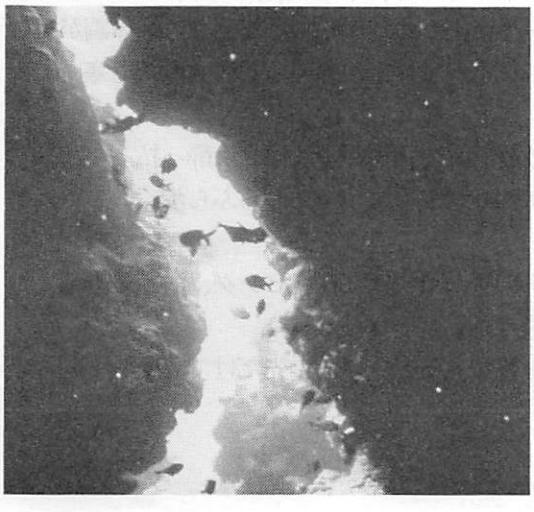
関東近在も野山の紅葉が冬の訪れを感じさせる 11 月 17 日の早朝、羽田発 0720 時の宮古島直行 JTA021 便に搭乗のため朝飯も取らずに家を出る。日曜日の早朝の電車はガラガラで寒々として、散骨下見ツアーに似合いの出発と言うべきか。

我々の飛行機は、少し遅れて宮古島空港に着いた。空港から TAKA ダイビングの車で、先ず今回の宿泊先のペンションスターに行き、急いで機材を揃え、ダイビング・ウエアーに着替えて平良港に向かう。港では１日先に宮古島入りし、午前中既に１本潜った西村さんと酒井さんがボートの上で待っていて、ここで全員揃い午後のダイビングに下地島南のナルホド・ザ・ケーブへ。早速地形で有名な宮古島のケーブ・ダイブだ。

これがチェック・ダイブらしく、TAKA のスタッフ全員がアテンド。「鉄タンクは重いからウエイトを減らすように」等のアドバイスがあったが、それに従わなかった２人の女性が、潜降直後いきなり TAKA の主人にウエイト・ベルトを取り外されてビックリとか。しかし、１人の気丈な女性は、水中でスタッフとベルトを奪い合い、取り返してダイビングを続けたとのこと。

２日目のスナパーズ・ロックは、白砂に美しい珊瑚礁が点在し、その珊瑚礁には色鮮やかな小魚や各種幼魚が群れ、さながら魚達の天国のようだ。

「こんな美しく幸福そうな海に散骨も悪くないな」と感じた。



３日目のミニ・グロットも地形的に素晴らしかったが、ここで森重さんが２００本を達成した。我々からお祝いとしてＴシャツに参加者全員の寄せ書きをしてプレゼント、また TAKA の主人からは、貝細工に森重美智子様・祝２００本記念等と彫ったネックレスのプレゼントを首に掛けてもらい、頬にキッスまで・・、これには他の参加者（特に女性達）が羨ましそうにして「今度私の○○本記念は、宮古島の TAKA にしよう」との声が聞こえました。

今回のダイビングは、毎日北風が強く、宮古島北方の世界一の大珊瑚群落と言われる八重干瀬等には行けず。また、伊良部島方面への往復も天気が曇りで、ボート上に打ち上げる波飛沫に震える厳しい条件であったが、参加メンバーは、皆陽気でバイタリティに満ちており、とても楽しいツアーであった。

特に毎晩の夕食は賑やかで、良く飲み・良く食べ・良くしゃべり、この人達の散骨は、まだまだ先のことと感じた。まして自分の散骨について「オレは穴が好きだから宮古島のミニ・グロットにしようかな」と言う某氏もおり、この生臭さ、やっぱり散骨はまだまだ先のようです。

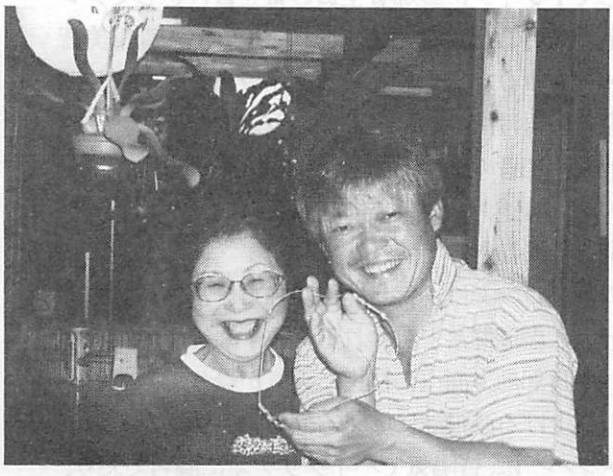
４日目は、レンタ・カーで島内観光をした。小さな島なので簡単に一周してしまうが、来間島から見た前浜の眺めや宮古島東南端の東平安名崎の断崖上から沖に点在する珊瑚礁の眺めは、なかなかの絶景で、海の中とは一味違った旅情を惜しみつつ、レンタ・カーでそのまま空港に行き、夕食を取って 1940 時宮古島発 JTA022 便で羽田空港に戻った。

ツアー参加者；大西亀美子、浅原昌子、森重美智子、金子忠司、狩野幸繁、西村麻美、酒井冨義、大隅照子、金井達雄　　計９名

「２００本記念」　森重　美智子（１８８）

今回「散骨下見お楽しみツアー」ということで参加させてもらいました。

私は散骨の事についてはあまり勉強もせず気楽に来てもよいとの事で、お言葉に甘えて宮古に行って来ました。ダイビングを始めて８年、ＳＤＣに入会して６年、２００本目を迎えることが出来ました。皆さんにお祝いをして頂き、又「ＴＡＫＡ」ダイビングサービスさんには記念にネックレスを頂きました。(名前や日付も入れてくれた心のこもった物でした)祝って頂く事は、本当に嬉しいものですね。ありがとう御座いました。賑やかで楽しいツアーで、又思い出が出来ました。



(タカさんより200本記念のネックレスを贈られて満面の笑み)

「散骨お楽しみ下見ツアーに参加して」

３２６　酒井富義

会員になって数年。今までＳＤＣのツアーに参加したことはありませんでした。いつも会報は楽しみに見ていますが、持ち上げる話が多いので今回は違った報告をしましょう。
参加者氏名は他の方から発表があると思うので省略します。１０月石垣ツアーに申し込みましたが、定員一杯の返事。次の国内ツアーを探すと宮古散骨お楽しみ下見ツアーでした。この表題を見て一瞬戸惑いました。私の年齢は５５歳現役です、まだ現世に未練があり、あの世の世界は先のものと思っていました。
でも僕もＳＤＣの会員もう直ぐかも。一瞬、見合わせようと考えたが、計画表を見みれば国内参加をするのは来年になりそう。
何を血迷ったのか、意思とは逆に人差し指がかってにダイヤルイン、声の先は大隅さん１名空いているとのこと。この指を詰めようか。
心中では散骨ツアーだから、定員一杯の返事もありがたかったと応募したことに反省。
宮古へ行くのは２年ぶりで知り合いも居て、その方達と皆さんが帰った後に潜ったり飲んだりも一考と思い、ＳＤＣご一同様とは一回ぐらい夕食を共にして、後は知り合いと飲もうと思って参加。結局毎日楽しいので全日程参加。
僕の初ダイブは１６日から。
宮古の天候は、近年にない気温の低下と毎日の曇り又は雨空。お世話になったダイブサービスのタカさんは初めてで、タカさんも我々のようなグループを受け入れるのは初めてとのこと。少し不安気味な様子。
当方も１７日どんな方達が来るのか興味津々。皆さんが来られて簡単な挨拶をして潜りましたが、途中パニックや疲労になり、抱きつかれたら困るので、ちょっと離れた所を潜る。しかし皆様のダイブ姿を見たら、かなりなもので潜ることに専念。
１本目はタカさんの奥さんがアシストに付くが、２本目は安心し家に帰ってアシストなし。中には１０００本以上の方もいて、つわものぞろいの印象。すごいの一言。カメラの方もおられたが、大半は魚観察。僕もカメラは撮るが、持参しなかったので潜水中は人間ウオッチングする。
一日目のダイブも終わり夕食の時間になり、その場所で各自自己紹介。
飲む打つ買うは知っていたが、飲む食う喋るはこの歳で初体験。
各自紹介が始まって自分の紹介が終れば、次の方が話していても気にせず、その方の一言から回りの人が脱線し喋り、自己紹介の人も。加わり一緒に喋っている。
又、自己紹介の人が挨拶している中でも、同時に他の方も喋る。冷静沈着な司会進行役の金井さんも、つい一緒に喋っている。紹介は１分弱で終るが、脱線するので９人全員の終了は約２０分後。
その光景は圧巻で、地獄をかいま見たような気がする。つい見とれて、さすが人生経験豊富な方の集まりと感心。聞けば楽しいから参加したと、おっしゃるご婦人もおられました。これが店を変わっても毎日同じ状態。
僕の方は風邪を引いての参加、水中ではこの時期に着用するウエットでも寒く、冷えて筋肉が堅くなっていたのか、ボートに上がってから腰が痛くなる。体調が悪いせいか、寝不足や体調が悪いと同じ水温でも寒く感じます。
ホテルから飲食店まで往復徒歩、帰りは酔っ払って車がこようが気にせず道の真中を、ふらふら歩く人もいる。
翌朝は二日酔いもなく快適にダイビング、潜る姿も超ベテラン。最年長の金子さん。
水中でふっと横を見るとフィンの先だけで着底してい

る女性、その姿は人魚が半分尻尾を曲げながら立っている感じ、コペンハーゲンだったか、人魚像を思い浮かべ思わず拍手。女性達の喋りを聞いて５５年生きてきて良かったと感心。皆様と会うのは初対面ですが、夕食時も楽しいので、参加して良かったと納得。

１９日の３本目に美智子さま２００本記念ダイブだが、相変わらず腰が抜けてリタイヤ。

出発前の大隅さんからの連絡表に体調が悪かったら見栄張らずパスしましょう、無理しても誰も誉めてはくれませんと書いてあった。その見本になった。途中で帰られた西村さんを除けば今回最小ダイブ数。この中では最年少…負けた。針とマッサージを毎日したが、毒気の方が強いのか回復の見込みなし。

体力気力喋りは、完全に僕の負け。

静かなのは潜っている時のみ。

水中会話マスクを着けて潜れば、どんな状態になるか興味が湧く、魚を囲んで井戸端会議かな。人間臭いのは僕ではなく皆様の方が、人生前向きで人間味があり、人生経験豊富な方達と出会って、５５歳の僕は未だ若造だと痛感しきり。逆にオーラや生き甲斐を頂く。僕が最初に散骨になるのではと思ってくる。

最終日の夕食後に数人の方から、散骨についての考え方を聞く。

散骨のメッリト・デメリットやお葬式の仕方によって費用が違ってくることや、棺桶の入手方法も書いてあり妙に納得する。このメンバーさまと、機会があれば一緒に潜りたいものです。

僕を除けば全員関東の方で後日、反省会を開くとのこと。

特に反省をすることは無さそうなのに、何を反省するのか多分、反省と言う字を魚に飲む食う喋るになると思う。

年内は上京できそうもないが、いつか行ったときに連絡が取れれば又、オーラや生き甲斐を頂くことにしよう。

参加者の中では年少者の報告なので敬称を使った表現が良いのでしょうが、臨場感が伝わらないので僕なりの表現をしましたがご容赦を。

伊豆は寒そうなので、個人的に沖縄方面へ行く人があれば是非誘って下さい。

最後は結局ヨイショか。でもこれは本音。と言う訳で完。

＊　腰痛やシニア飛び込む水の音
＊　若輩の気持ち高めるシニアたち
＊　若人やこの生き様を見習えよ

「初めて会ったSDC」
高畠忠行・笑子・本橋豊
（ＴＡＫＡダイビングオーナー・ガイド）

最初は「どういうダイバーなのかなぁ？」と思いつつも（ＳＤＣに限らずですけどね）１本潜るとだいたいわかりました。

魚を見ることが好きな方が多く、じっくり観察されてたのが印象に残っています。

また、上がってからは井戸端会議の様に海の話や色々な話に花を咲かせ、この旅行を精一杯楽しまれているんだと感じました。シニアといっても若い人に全然負けてないなぁ～というのも本音です。

シニアに限らずですが、自分の体調やレベルに正直に付き合っていつまでも楽しいダイビングライフを送っていただきたいと思います。

フリーウエイツーリスト

◆モルディブ・紅海・ガラパゴス・南太平洋・ラパス・
オーストラリア・◆アフリカ・中南米・エジプト 取扱い

FREEWAY TOURIST

SDCの皆様へご提案・世界のダイビング＆旅行情報 （2003年1月～）

フリーウェイの取扱う世界の海をベストシーズン別にご案内いたします。年間のご計画にお役立てください。
詳しいツアー情報あり。ご請求ください。ホームページでも掲載中。www.fwt.co.jp の【SDCの皆様へ】からご覧下さい。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【モルディブ】：通年OKです。12～4月が乾季・6～10月が雨季。5月・11月は乾季と雨季の変わり目。やや天候が不安定。ジンベエ狙なら、6～11月のダイブサファリ（クルーズ）へ！2002年実績、7～11月、各週100%の遭遇率！ もちろんリゾート滞在もOK.											
【ガラパゴス】：通年OKです。5～11月が乾季・12～4月が雨季。でも12～4月の雨季のほうが日差しが強く暑い。海況も穏やか。5～11月は乾季とはいえ曇りがちで気温、水温も低め。ただし海中世界はいつ行っても凄い。クルーズ・日帰りダイビングともにOK.											
			【レッドシー】（エジプト・紅海）のベストシーズン。ピラミッド観光や、ルクソール・アスワン・アブシンベルといった遺跡も巡るなら、まだ涼しい4・11月がおすすめ。カイロ直行便利用が楽								
			【ケイマン諸島】のベストシーズン								
				【ラパス】5・6月が穴場のオンシーズン。旅行代金も一番安い。							
				【パプアニューギニア】人気のカビエンならこの時期。							
【タヒチ】			【バハマ・ドルフィンサイト】イルカに会える。							【タヒチ】	
【スミラン・スリン】			【エクスマス】（西オーストラリア）ジンベエシーズン！		【ココアイランド（島）】通年Ok。でも特に濃い。					【スミラン・スリン】	
【コスメル】ダイビングシーズン						【トンガ王国】クジラ！				【コスメル】	
				【キューバ】情熱の国がまさに・ア・ツ・い！							
【フィジー】魚影が濃い！				【マダガスカル・ノシベ】乾季のベスト・陸上もOK			【マダガスカル】アナカウ・イファティがいい				【フィジー】ダイビング◎
		【シパダン】ベストシーズン									
					【バヌアツ】がシーズンです。ニューカレドニアと組合せもOK						
【ニューカレドニア】ヌメア・イルデパン・マラブ				【セイシェル】バード島シーズン						【ニューカレドニア】11～3月がいい。	
【イースター島】～3月								【イースター島】シーズンです。			
【ペンバ島】ケニアサファリも◎						【ペンバ島】ダイビングシーズン・東アフリカいちの海!?					
【クリスマス島】ダイビングシーズン										【クリスマス島】	

ベスト中のベストの海へ山へ、担当永吉（ナガヨシ・SDC No,505)がツアーリーダーとしてご案内いたします。
SDCの皆様用にアレンジ致しますが、ご要望がございましたらご遠慮なくお申し付けください。ご指導願います。
高くてとりにくいピークシーズン（繁忙期）を少しずらせば、ベストシーズンの地域へ、お得に、楽に、ご案内できます。
正確な日程は皆様のご要望の多い日で設定可能です。料金はご参加人数別の予定価格です。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
行先	イースター島モアイ観光＆パタゴニアトレッキング	ペンバ島ダイビング＆ケニア動物サファリ	ガラパゴス・ダイビング＆上陸動物観察	エクスマス（西オーストラリア）ジンベエスイム	セイシェル・ダイブ＆バード島（セグロアジサシ）	レッドシー（エジプト）ダイブクルーズ＆遺跡	パプアニューギニア（カビエン・ダイビング）	トンガ王国ダイビング＆ホエールウォッチング	ココアイランド・ダイブクルーズ	タヒチ・ランギロアダイビング	マラブ・ニューカレドニア北部秘蔵ダイブリゾート	イルデパン・ニューカレドニア・ダイビング
日数	15日間	12日間	11日間	10日間	9日間	10日間	8日間	10日間	14日間	8日間	8日間	8日間
人数	10名以上	10名以上	8名以上	8名以上	8名以上	10名以上	6名以上	6名以上	10名以上	6名以上	6名以上	6名以上
予定価格	約65万	約50万	約55万	約35万	約40万	約30万	約30万	約40万	約55万	約35万	約30万	約25万

お問合せお待ちしております。 担当：永吉拓也 （ナガヨシ） ※SDCのメンバーですとお伝えください。
電話：03-3231-0730 フリーダイヤル：0120-36-0730（首都圏以外より） ファックス：03-3231-0731
ホームページ www.fwt.co.jp メール： nagayoshi@fwt.co.jp
㈱フリーウエイツーリスト 国土交通大臣登録旅行業第1363号 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-2 東洋ビル9階

「散骨を語る会」便り

475　池田　宮子　　006　大隅　照子

★　池田　宮子

先の会報で塙さんがおっしゃっていたのと同じに私も　「この大きいＳＤＣにどこから入っていけば良いだろう」と考えながらもきっかけがつかめずに、入会してから半年が過ぎていました。

届いた１４号の会報で見つけた＜散骨を語る会＞の文字。まさしく運命的な出会い！（ちょっとオーバーだったかな？）なぜなら、１０年前にダイビングを始めてまもなく「最後は海に帰りたい」と思うようになり、年々その思いが強くなってきていたからです。

大隅さん、千野さん、金井さんと三人の方の文を読みながら「やっぱり！」「さすが！」という思いが最初に、次に「これだぁ！」が正直な気持ち。

ダイビングの話をしているだけでも楽しいのに、更にもう一つ、関心の有った＜散骨＞をテーマにして話すなんて「なんと嬉しい会が出来たものだろう」と。

すぐに、「次回の集まりに参加したい」との希望を金井さんへ伝えて、１１月５日の新橋　ＢＯＸでの集まりに参加。

会に参加した感想を三つだけ簡単にお話します。

第１．ＳＤＣに入会して良かったぁ！

　こんなに頼もしく素敵な方たちにお会いできるなんて！（これはホントです！）

第２．これで私は生有る限り、ＳＤＣの会員で有りつづけるだろうなぁ。たとえ疎まれたとしても..。

第３．　楽しかったぁー！　おいしかったぁー！

ご理解いただけるでしょうか？

好きなダイビングと関心の有った＜散骨＞についての話しが聞けて、その上、飲み物もお料理もおいしくて、たっぷり有るのですから、これはもう言うこと無し！の世界ですよ。思いきって参加して良かったぁーと改めて思いました..。

こんなに楽しく時間を過ごしながら、これまで自分ではまとめる事の出来なかった＜散骨＞についてを、皆さんと一緒にまとめあげる事が出来るこの会との出会いに感謝！！

私が出会うことの出来たＳＤＣの小さな集まり＜散骨を語る会＞前の会報で千野さんもおっしゃっていましたが、このようなテーマに応じた小さな会がこれからもっと出来ると好いですね。

たくさんの素敵な出会いが生まれやすくなるでしょうから..。皆様、　陸上・海上・海中で、これからどうぞよろしくお願いいたします！

★大隅　照子

第２回「散骨を語る会」は１０８％の参加率でした。何にも土台ができていない会なので１回終わるかもしれなかったのですが、飲みたい気持ちが沸いてきて２回目もやってしまいました。散骨に関心がある方もない方も集まって楽しい一時を過ごしました。

この日もたくさんおしゃべりしました。「葬送の自由をすすめる会」に所属しているＫさんから「骨はパウダー状にしないと許可が出ません」と教わりました。それを聞いて嬉しそうに「パウダーになれば世界の海の隅々まで行ける」の声！こうなったら会の備品としてスリコギ、すり鉢を買い揃えないと･･･。

「どうして散骨したいの？」の質問に対しても答えは様々。中には「死んでまで旦那と同じ墓に入るなんて嫌よ！」等と過激な発言もあり・・・爆笑！

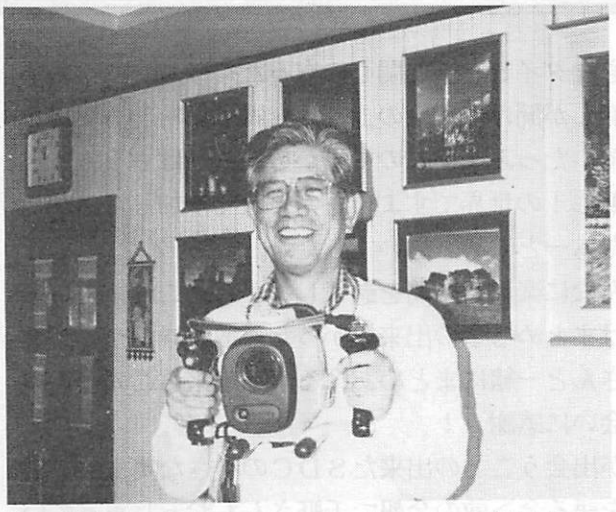
こんなおしゃべりも美味しいツマミとなりました。

この会は会員制でもなく、出入り自由な何の束縛もない会です。

目的の「散骨をどう進めるか」はこれからのんびり、飲みながらでも考えていこうと思っています。少しでも関心ある方は、サロン「BONE」へお越しください。　　世話役（大隅照子）

私のダイビングとの出会い

304　小野　忠雄



私のダイビングとの出会いは、今から５年前家族とハワイへ旅行した際娘が言い出して(ハナウマベイ）でシュノーケルをしたのが始まりでした。そのとき初めて水面から美しい熱帯魚を見て感激し、帰国してからたまたま書店でダイビング雑誌でダイビングの記事を読み、それまでまったく縁の無かった世界があることを知りました。

当時私の趣味として、部屋の中に１２０ｃｍの水槽には海水魚、９０ｃｍの水槽には淡水魚を飼育しており、特に海水魚は高価で水槽の水が飼育に適する状態になるまでには随分死に、『クイーン・エンゼル』等は３０，０００円位で買ったものが死んではまた買い、家内いわく鯛でも 3000 円くらいで買えて死んだら食べられるのに、熱帯魚は捨てるより仕方が無いと言いました。　もともと熱帯魚には興味を持っていて海水魚で水槽にいたのはクイーン・エンゼル、アデヤッコ、タテジマキンチャクダイのヤッコ類、ナンヨウハギ、キイロハギ、クマノミ、ルリスズメダイ等々でした。海水魚の場合同種の魚の狭い水槽での共生が難しくその為クマノミは幼魚のうちにペアーで入れなければとか、また買い足す場合弱い魚から入れて性質の強いヤッコ類は１番最後に入れるとかいろいろ本で調べたものです。

ダイビング雑誌でダイビングの基本は必ずバディと潜る事またそれをするにはライセンスを取る必要がある事も知り先ず家内を誘いましたが、彼女はまったく泳げず海が怖くて潜るなどもっての外で、それでも私のダイビング熱は止みがたくひとりでスタートする事を決意しました。

私は就職して以来商業に携わっていて(雑貨の輸出業)安く買う事が基本になっていましたので、名古屋市内のダイビング・ショップの数軒に電話をしてそのうち最も安いショップでライセンスを取得しましたが、今から思えば自分の生命もかかるのにあまりにも安易に考えていたと思います。

というのはもともと水泳は得意で学校へ行っていた頃は川で素潜りをして魚を捕らえていたので、Ｃカードを取る時のプール実習、２日間の海洋実習でも最初からイントラと一緒に潜り何の問題も無かったのですがただマスク・クリアーの際、鼻から水が入って出来ず家の風呂で練習するからと言ったら『ハイ、ワカリマシタ』で直ぐにＣカードをくれあまりにも簡単でした。その為随分後までＢＣにはエアーを入れて中性浮揚をとると

いう事を知りませんでした。そのショップはダイビング・ツアーも催すと云っていましたが、何せひとりだけでやっていて、その後連絡したら既に閉鎖していました。ですからＣカードは取ったもののチャンスが無く４ヶ月くらい後に家族と石垣島へ観光で出かけた際、私ひとりで『石垣島ダイビング・スクール』に参加を申し込んで、勿論Ｃカード取得後最初のダイブと言う事は云ったのですが、今から思えば海底を這っていました。その後名古屋市内の他のショップを訪れた際、毎週伊豆の大瀬崎とか串本へ行っているとの事でそのショップから串本へ２回、大瀬崎へ３回ほど行きましたが、同行者５、６人は皆若い人達ばかりで年配者をいたわってか終わってからバッグへ入れるのを手伝ってくれたりまた帰りのドライブ・インでお互いにワーワー言いながらログ付けをしたりそれはそれで楽しいのですがなんか今ひとつ話の合わぬところもあり、そうこうする内ＳＤＣの存在を雑誌で知り入会を申し込んですぐにモルジブへのダイビング・ツアーのお誘いを頂き何も考えずに直ぐに飛びついたのですが、直前に矢張り雑誌でモルジブでは必ずチェック・ダイブでマスク・クリアーとレギュレーターリカバリーがチェックされパスしないと潜れないと読み、慌てて名古屋市内のプールのあるショップでコーチ付きで基本をやり直したような状態でした。ちなみにそのときの経験本数は１６本でした。ＳＤＣに加入後多くの人達と知り合え定期的にツアーに参加して定年後の人生をエンジョイしています。

シパダンからシパダンへ

247　長野　恭子

アメリカのテロ事件直後の１０月、シパダンダイブは中止した方もいましたが、行ってみれば、タイやヒラメの舞踊り、只ただ珍しく面白くの龍宮城そのもの、おまけにバッファローフィッシュの大群で、それは、それは壮観で期待通りの海でした。

１１月モルジブ詣で、飛行機は例年ならお祝いに出される白いケーキ箱を大事に持って降りる新婚さんで満員なのですが、ガラガラでした。パラダイス・アイランドの五星リゾートホテルで２百本達成記念を盛大に祝っていただきました。ありがとう。続けてよかった。

３月フィジー南半球に行きました。日本からニュージーランドの大学に留学中の学生御一行様とホテルが一緒、体育単位が日本語で３日間の訓練でダイブライセンスが共に取れると、学生達に人気課目だそうです。毎夜開かれるパーティーでも乗ってしまいました。シニアも負けずに若い、若いでした。
私は「地球は丸いと言う実感がした」の新婚さんの言葉に誘われて、パラセーリングに挑戦、３６０°見渡した１０分間でした。

４月モルジブ・クルージング。出発日だけ決めて、この指、止まれで止まった５人が参加。私はリーダーならぬ連絡係を務めました。オーナーからシニアのダイブ本数は信じない、手袋はつけるな、壁に触るな、ウェイトを落とせ、浮力をキープしろ、いろいろキツイアドバイスあり大変でしたが、スキルアップしたと思っています。

５月ロンボク。普通ではなかなか行けないロンボク島、この島から前橋市の知人宅に、インドネシアから選抜された男子高校生が１年間留学していました。大切な牛一頭売った３千円を虎の子として持って来たそうです。その虎の子がゲームをすれば半日も遊べない額と知って絶句したとか。必死に勉強して、身長が２０ｃｍも伸びて帰国しました。私は３百円のパレオと塩２ｋｇを買って帰りました。

10月シパダン再訪。バラクーダーの大群がトルネードでやってきました。
バッファローはどこかへ疎開してしまったとか。浦島太郎を乗せて龍宮城に送り届けたカメ君たちは元気でした。子ガメの放流これが見ものです。花も嵐も踏み越えて突進するのが殆どですが、なかには目が悪い、悪い予感がするとばかりに動かないのもいます。係りのおじさんは無理強いせず、いつも連れ帰ります。
シパダンからシパダンへ、シパダンで 10 の年齢を重ねるのが私の夢です。

事務局の住所等が変わりました

転居のため、住所・電話・FAX・E-mail が変更になりました。お手元の住所録を訂正ください。

記

1. 住所 :〒215-0018 川崎市麻生区王禅寺 1-22-5
2. FAX : 044-969-3009
3. E-mail : urg529@a3.ocv.ne.jp

＊　尚、従来のメールアドレスは一月一杯は、併用いします。

ログブック欄外記「デラワン」

2002.9.14~23　　425　浅原　昌子

９月１４日、成田を発ってクアラルンプールで国内便にのりかえ、コタキナバルで一泊。
９月１５日朝8:３０、荷重を気にしながらチャーター便乗り場へ行ったら重量の心配は無用。
十数名のゲストを乗せて小型機は出発した。眼下にパッチワークの様に区切られた海老の養殖場が見えてきたらもうすぐ着陸。
インドネシア入国手続きの後フェリー乗り場からデラワン島へ。なのだがこの船着場で、皆も、現地の係りの人までもが止めるのに、即席ラーメンを買って口にしているカップルがいる。ポットの水は大丈夫なのかなー、と思っていたらこんどはパンに手を出していた。その上洗ってない果物を……。私が「お腹大丈夫？水が心配だから」と言うと「大丈夫よ、ポットの中はお湯なのよ」とみんなの心配を他所に“満足そう”。
この件をきっかけに、ぼつぼつ見知らぬ同士の会話がはじまった。

サンガラキ島行きのグループと別れて、我々はデラワンで下船、例のカップルは降りなかった。デラワン組一同「降りなかったね」。
部屋はゆったりだしツインベットだったのでホットした。おまけにクーラーもついていてシャワーはお湯が出た、ラッキー。
ガイド　神作陽一氏　（かんちゃん）―　この人、無着成恭さんにそっくりの人。本人はボーカルの誰かに似ていると思っていたとかいないとか？
長～ィ桟橋を持つリゾートでのダイビングが始まった。テストダイブ潜降は、夕方の５時半を過ぎていた。
先ずは亀の歓迎をうけ、きれいなガラスハゼ、ロンボク海老、オリビヤシュリンプ等マクロもの。

＜１６日＞
ポイントが近いので、朝もゆっくりで、リゾートからボートで１０分位。いきなり３５mの深さまでおりた。先ず綺麗なフチドリハナダイ、初めて見るハチマキダテハゼ、自分で穴を掘るオトメハゼ、確かに似ている？オランウータンクラブ等、細かい物好きの人にはたまらない海。
ただリゾートに近いので、青緑の綿菓子をちぎったような藻が浮かんでいて、それが透視度を下げている。珍しい小物を見てデラワン島で３本。

＜１７日＞デジカメデビュー
昨日から、今日こそカメラを持って潜ろうと決心して、２本目のツツルガは２回目なので持って入った。が、大胆にもあの臆病で、被写体としては最も難しいと言われているヤッコの仲間を狙ってしまった。テーブルサンゴの上でノンビリ餌をついばむ姿に思わずカメラを向けた。３mぐらいの距離。夢中で狙って見ても私に撮られる相手ではなかった。振り向くとさっき私が見たハゼのところで、我バデーは、ルーペを出して観察中だ。よしもう一度トライと、カメラのピント合わせをして、…アア！又逃げられた。―いつも気持ちよく出してくれる連れ合いに、（カメラも彼の物だし）何とかきれいな海の中を見せてやりたくて―ちょっとむきになってしまった。
ヤヤ、振り向くと誰も居ない。さっきまで見えた処が濁って見えなくなっている。ほんの３m位しか離れていなかったのに。
タンクを叩いて音を送りながら待つこと５分程、サンゴも綺麗だし、亀や魚が目を楽しませてくれるのだが気がつくと結構流れもある。このまま此処にいるわけにはいかないと判断して一人で上がる事にした。
徐々に浮上はじめ安全停止をして、タマちゃんの様に海面に顔を出したらリゾートのすぐ近く。泳いでも戻れる距離だが、この際練習も兼ねてフロートをつかった。海面に顔を出した時、船が桟橋を出るところだった。ガイドのカンちゃんが連絡してくれたらしい。
一難さって又一難、今度はダイコンのバッテリー切れだ(;_;)大物狙いのカカバン島やマラトア島ではダイコンが使えない、どうする！

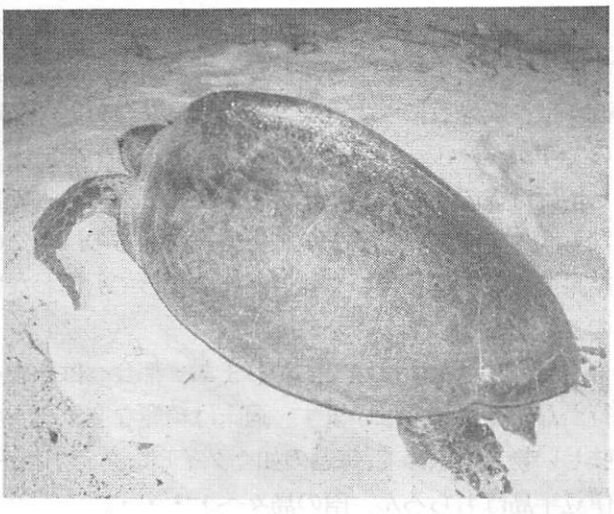
＜１８日＞１本めはデラワンで砂白くサンゴの綺麗なポイントを潜った後マンタの島サンガラキへ。

AM12：30〜13時頃　産卵の後穴を埋めている

＜１９日＞カカバンの１本目、なんとエントリーに失敗、目的のエキジット地点迄行けず途中でボートへ戻った。潜水時間３５分　エアーは４０Ｌを切っていた。

＜２０日＞の３本目マラトア島、凄い流れのチャンネル、エントリー後暫く流れに逆らって進んだ後ラグーンへの入り口へ戻って（でもこれって有りかな）ラグーンの流れにのった。無事ながら〜い流れを楽しめたのだったが——。この様なポイントでは、ガイドが戻るまで曲がり角で待っても良かったのでは？でも必死でガイドの後を追ったのだ、そして見るものは見たのだから我ながら呆れる。

カンちゃんにはエントリー前のＢＣのエアーの完全な抜き方など言われて“アッそうか”と思いあたることを教えられた。感謝。グループの若者達のダイビング姿は色々。天使のように、いつも天上の人、しんがりでノンビリやって来る人、ダイナミックなキックで体力を見せてくれる人等、夫々このマラトアを潜り切るツワモノ（いいえ大和撫子）です。歳を考えるとこんな激辛ダイビングは後何回できるかなー。



夜の黒い海に帰る

リゾートには我々より１日早く帰ったタイ人のグループも、——リーダーの誕生日のワインを振るまわれたから悪口は言いたくないけれど、——マンタを追いかけたり、写真のために砂の中の魚を掘り出したりと、海の中でのマナーは＊＊？

デラワン島は小物の宝庫、ハゼをはじめ、〇〇シュリンプ〇〇クラブ等をじっくり沢山みた。夫々小さいながら体の模様が綺麗なこと。又マラトア島ではラグーンに入る前の外洋で、きれいなイエローフィンバラクーダ、マダラトビエイ等。

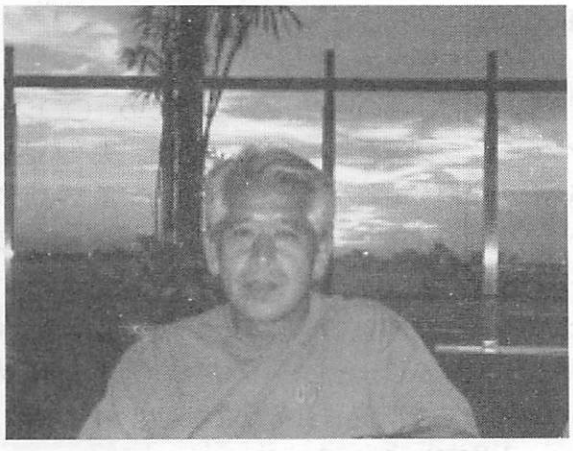
サンガラキでは体全体が黒色のマンタに会えた。マンタ群は、我々がじーとしているとあの大きな口をめいっぱい開けて、吸い込まれそうな程近くへ寄ってきて、クルッと旋回していった，ワ〜〜。

例のラーメンカップルも帰りの船に元気で乗っていた。めでたしめでたし！

参加の皆さんと

ダイビングと健康に良い事を

309　杉江　清



“すぎー@茅ヶ崎”です。免許を取ってから３０数年（＾０＾）。Cカード認定から４年、４８４本、年間１２１本潜っている。潜りすぎーと言われる。２月の串本では９５分間も・・寒い中を漂っていた。皆寒かったんだって。だけど、誰も「帰ろう」とは言い出さなかった。誰かが「帰ろう」と言うのを待っていたんだって！ま、いいか！ もちろん！ドライスーツでした（＾-＾；；；。

ガイドと一緒だと通常35～40分間でお仕舞い！

短いったらありゃあしない（＾＾）。タバコを吸わないから、綺麗な空気を無駄なく肺が吸収してエアー持ちが良いんです。普通は１本６０分間前後、エアーが無くなったら戻りますが、バディ潜水だとどちらかがエアーが残っているので、無駄にしないようにしています。

やっと、人生の半分に来たので、残りの半分もたっぷりと遊ぼうと健康に良い事をする様に心掛けています。だから、食べ物は少しで充分です。

沢山食べると栄養が多すぎて、体重に現れます。節制しないとすぐに身重に（＾＾）なってしまいます。そのために、普段から空気の綺麗な所で過ごす様にしているのです。ダイビングポイントって、自然が豊かで遠くの景色がはっきりと見える空気の綺麗な所が多いですよね！

都会の方を見ると都市の上空は灰色ドームに見えます。新宿、渋谷、東京駅に着くとあまりの空気の汚さに自分の健康が害されるのではないかと心配になります。

３０歳までででしたら、新陳代謝もまだまだ盛んで体調も回復し易いのでしょうけど、４０歳を過ぎると新陳代謝も少なくなり、身体に悪い物質も吸収し蓄積してしまうので、防ぐためにいろいろと苦労することが多いのです。沖縄で一流ホテルのレストランに行ったら各テーブルに灰皿が置かれていましたので、支配人を呼び「ここでは、喫煙場でお客に食事をさせるのですか？？私は喫煙場で食事をしたくはありません。周りのテーブルを見てください。ここにいる人のうち何人がタバコを吸っていますか？数人でしょう。あとの多数の人は吸っていませんよね。ごく少数の喫煙者の為に、多くの人が嫌な思いをしているのですよ」と、伝えました。すると支配人は「直ぐには変えられないものです」と、答えてきました。「簡単ですよ。あなたがその気になって、半分のテーブルから灰皿を片付ければそれでよいのです。タバコの嫌いな人は灰皿の無いテーブルに座りますが、喫煙者は灰皿の有る所へいくでしょう。」その時はすぐ隣の別室に案内されてそこで食べました。翌日行くと、支配人が「片付けました」と、灰皿の置かれていない席へ案内してくれました。後から人が入ってくるのですが、多くの人が灰皿の置かれていないテーブルに着席します。食事を終えて席を立つと、また支配人がそばに来て「（ご指摘）ありがとうございました。また、お気付きの事がありましたら、お教えください」と言ってきました。「やはり、皆さん禁煙席を期待していたのですね。（支配人さん、灰皿を片付けてくれて）ありがとうございました。だんだんと良くなるといいですね。」とお礼を言いました。「団体の人達はマナーが悪くて、禁煙場所だろうとどこだろうと周りを構わずタバコを吸って、灰を散らかすので灰皿を用意していました」と言っていました。確かに、喫煙者にマナーを言っても無駄なことが多いのですが・・・。

情けは人の為ならず・・・ですが、タバコも人の為ならず！ですね。吸う人が肺炎や癌になるのは当然の結果ですが、連れ合いや伴侶が癌になっても構わないのでしょうかね？

空気の汚れた所は嫌ですね。まあ、都会へはあまり行かない様にしてはいます。週末は綺麗な空気を！美味しい物を！求めて、毎週の如くダイビングですね～。伊豆半島はもちろん、南の島々へ・・・・。

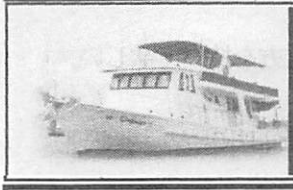
パイナップルニュース for SDC

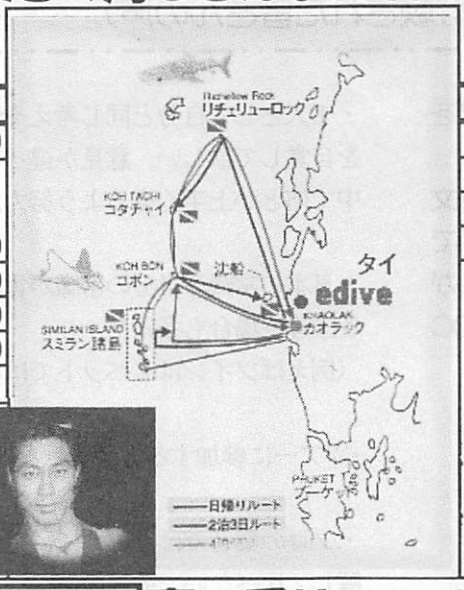
とっておきの海でこんなガイドがご案内いたします。

クルーズ6日間１３ダイブ
スミラン・リチュリュー

カオラック発	東京	大阪
1/18,25	155000	151000
2/1,13,17 19,22 3/2,8,15	162000	154000
3/20.	171000	166000
3/24.	164000	158000
3/29.	159000	151000

▼高見沢&アンスマーリン号





JAL直行便で行く！
らくらくパラオ6日間8ダイブ

東京発	デセケル	パレイシア	PPR
1/21,28	152000	179000	198000
2/4.	171000	191000	228000
2/11.	181000	206000	238000
2/18.	178000	204000	236000

▼ダイビングサービスはやっぱり「DayDream」で決まり！！
ミスウナリザキＶ&チーフガイド遠藤

ありゃ？？・・・ジンベイだ

先日、ポイント開発?でバリ島の隣の余り名前が知られていない[レンボガン」へ下見に行きました。ﾊﾟｷﾊﾟｷ、ﾋﾟﾁﾋﾟﾁの珊瑚たち。枕程のﾛｸｾﾝ、ｻｻﾞﾅﾐついでにｲﾅｽﾞﾏ、ﾛｳﾆﾝ、ｶｽﾐ、ｽﾐﾚﾅｶﾞ。結果はなかなかの好印象。ﾎﾟｲﾝﾄ開発が楽しみな海です。季節外れのジンベイはチョット早い「Xmasプレゼント」でした。

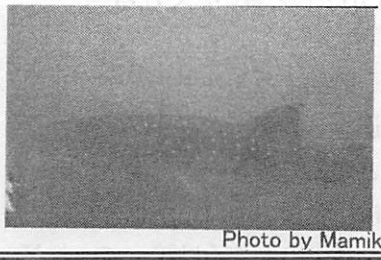


Photo by Mamiko..

春一番はココの海！

☆レンボガン
期待の新顔は只今ﾎﾟｲﾝﾄ開発中。

☆モルディブ エライドゥ
春＞夏は流れも穏やか。ﾄﾞﾛｯﾌﾟｵﾌが有名

☆メナド
シーラカンスの棲む海「メナド」は透明度自慢

☆渡嘉敷
少人数制でのんびりダイブ。春の沖縄1押し

☆コモドダイブクルーズ
パンドラの箱「コモド」「サトンダ」を廻る

☆ニューギニア ロロアタ
直行便で行く！デジカメ天国

☆タイ タオ&ナユアン
海はタオが。だけど泊まるのはウーン？ナユアン島泊なら問題解決。

うきうきフィジー・ビーチコマー
8日間 無制限ダイブ

	ロッジ泊	ブレ泊
1/4-31	141000	152500
2/1-3/17	158000	169500
3/20-31	149000	160500

◎毎週 月・木・土成田発
◎延泊・一人参加手配も可能
▼まるでモルディブ？ビーチコマー

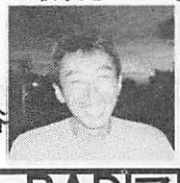
日本航空利用！ リフレッシュ&ファンダイブ ステップアップ in グアム

まだチョット自身がない。間があいてしまった。アドバンス取りたい・・・などグアムなら気軽にGO！！

▼デイドリーム メインガイド 下田一司

DayDream

マリンステージ
インストラクター大谷



MARINE STAGE GUAM

リフレッシュ&ファンダイブ 4日間、5日間

1月10日～4月24日 東京発		
夜発便利用	4日間4ダイブ	¥65,000～¥126,000
朝発便利用	4日間4ダイブ	¥80,000～¥148,000
夜発便利用	5日間6ダイブ	¥84,000～¥146,000
朝発便利用	5日間6ダイブ	¥99,000～¥168,000
1月10日～4月24日 大阪発		
朝発便利用	4日間4ダイブ	¥76,000～¥133,000
朝発便利用	5日間6ダイブ	¥94,000～¥151,000

PADIアドバンス 4日間

1月10日～4月24日 東京発	
昼発便利用	¥86,000～¥154,000
1月10日～4月24日 大阪発	
昼発便利用	¥82,000～¥139,000

◎Cカード料金別（現地払い¥2,000）
PADI以外の団体からのクロスオーバーなどもOK。ご相談下さい。
◎4名様以上のお申込は¥2,000引き

パイナップルツアー（株）ビージェープランニング
電話:03−5458−5845 ファックス:03−3462−5076
e-mail:info@bjc.co.jp 担当:大井手結花里（おおいで ゆかり）

SDCツアーに思うこと……リーダー編

（リーダーを経験された皆さんの声）

＊リーダーを経験された方々から貴重なアドバイスをいただけました。
これは役員会で論議したわけでもなく、そのまま原文に近い形で載せさせてもらいました。ご自分の判断で思い当たるところ、同感であるものについて皆さんが少しでも取り入れてくだされば、今後もより良いSDCツアーが末永く続けられると思います。

＜リーダーをやって良かったと思う時＞
・多くの友達が出来た。

・参加者が喜んでくれた時、やって良かったと思う。

・ダイビングサービスのガイドさんに、終わってから「SDCの皆さんはダイビングが上手いですね」と褒められた時。

・初めてお会いした人たちとも旧知の間柄のように親しく交流できますし、参加者同士もすぐに仲良しになって，その後良きバディ、良きグループが出来上がる例が多々あります。それは我が事のように嬉しいです。

・年齢が余り離れていないと言うことで、共通する、あるいは共感する話題が豊富で、特にアフターダイブが非常に楽しい。

・参加者は旅慣れて方が多いので、手がかからないし、トラブルもほとんどなかった。

・旅行中、リーダーに対してのさりげない励ましの言葉が嬉しかった。
相手の立場を思いやる気持ちの大切さを感じた。

・ツアーが終わってから、感想などの一言をもらった時は疲れが取れます。

・全体を優先に考えて自分の我侭を抑えてくれた方には、あり難いと思った。

＜考えて欲しいこと、気をつけて欲しいこと、アドバイス＞

・１人として自分と同じ考えや性格の人はいないことを自覚して欲しい。意見が違って当然である事。その中で何とか上手くやるよう努力が必要。

・日本の常識や自分の常識が世界の常識ではない事、各国違う場合も多い
（例えばツインは２ベットではない等）

・ツアーに参加する方は柔軟な考え方を持って欲しい。

・プロの業者ではないので、完全には出来ない事を理解し、比べないで欲しい。

・事前に色々な連絡を入れても、１度も反応を示さないのは寂しいです。「届きました」だけでも欲しい言葉です。

・事前に渡した書類に書いてあるのに、何でもかんでも「次はどうするんですか？」と頼られるのも困ります。「書類を見たんですか？」と言いたくなる。

・極一部の少数の方で一般的ではありませんが、我が儘なのか、自信があり過ぎるのか、グループに解け合わないで、我を通そうとする方がおいでのように聞いております。リーダーは、全員の為に良かれと心砕いて気配りしております。多少のところは譲っていただかないと、リーダーのなり手など無くなります。１人の為にグループ全体のせっかくの気分をメチャメチャにして、後味の悪いツアーにしてしまうことは、反省すべきだと思います。

・ダイビングはバディと一緒に潜るのが原則と教わりました。日本でも外国でも変わりません。原則が事故を防ぎます。ところがバディの事など忘れて、ガイドの真後ろに付いて行くのが良いとか、グループダイビングだからとか、考え違いをされている方がおいでです。また、エントリー前のバディチエックをやらない方も見受けられます。バディは先輩だからとか、ベテランだからなど関係ないことです。遠慮やウッカリミスでつまらない事故を起こさないように、気を付けましょう。

・リーダーに対しての気遣いだとは思いますが、物を送ってくださるのは困ります。その気持ちは分かりますし有り難いです。でも、欲しいのは物ではなくて気持ちです。

・カメラで撮影されている方の直前を無神経にも横切るのは注意しましょう。多少の遠慮があっても良いと思います。

・リーダーを添乗員並に思っている人がいます。１から１０までお伺いを立てるのではなく、常識の範囲でご自分で行動なさったほうが良いのではないだろうか。

＜自己反省、提案、感想、その他＞

・折角企画しても遠慮からか、スキルに自信がないからか、参加に躊躇される方を見受けます。もしスキルに自信がないとか、しばらく潜っていないとかの時はダイビング参加前に、その旨申し出ていただければ、現地ガイドに連絡を取るとかそれなりの配慮を致しますので、遠慮せず積極的に参加していただけるとよいのですが。

・クラブツアーは、なるべく多くの方に参加していただくことが本旨ですので、リーダーの方も経験本数の少ない方や、あまり参加されなかった方を優先していただくツアーを企画されますように、願っています。

・最近宿泊はシングルを希望される方が増えております。シングルを希望される方は申し込み時に連絡ください。ただし希望に添えない場合が多く、リーダーが苦慮するところです。現地に行ってからの申し込みは混乱を起こすことになります。

・リーダーは善意のボランティアです。限度を超した要求や期待が、問題を起こしかねません。ショップやガイドに求めるべき要求を、リーダーが受けるのは避けるべきでしょう。逆に言えばツアー参加者の要求に対しては、交通整理をする必要があります。そのことは参加者が承知すべきことですが、実態はそうもいかないようですね。

・ツアー中、リーダーに対しての協力は当然の事ですが、潜水の可否は、特にシニアの場合、自己の意志を尊重すべきです。「DV ストップ不安があれば潜るな！人が勧めても止めること。「不安」は信号、身体精神に何かがある証拠。リーダーは参加者を元気付ける意味もあって、褒めがちですが、これは一方で自己責任を謳っている訳ですから、何かあった時に、矛盾する話としてクローズアップします。

・皆さんある程度のお年ですから、健康面には特に注意をされたほうが良いのではないでしょうか。「自分は元気、健康」と見栄を張ったり、やたらと若ぶったりするのは止めましょう。

・ちょっと予定が違ったり、思うところと違ったりすると、悪気はないのでしょうがギヤァギヤァわめく人がいます。そんな参加者に出会った時は反面教師として受け止めることにしています。

・経済的なことを重視して安く計画を立てた時、良かれと思ってやったけれど、それで良かったのかと考えさせられる場合もありました。

・スティする国の情報をもっと集めておけば良かった、と思う事も何度か。(例えば、チップのみで生活している国等がある)

・団体で行くとつい盛り上がり過ぎることがあります。他のゲストにとっては決して良い感じのものではありません。時にはテーブルを小分けして座るとか、大声で騒がないとか、気を付ける事も大切かと思います。

・ショップの都合で最低人数が決められています。その為に、参加人数が満たない時には、参加申込者にお断りしなくてはならないのがつらいところです。

・参加者のメールやファックスが入ったら直ぐ確認の返事を入れるようにすること。参加者は連絡したけれど返事が無いので不安に思っていることでしょう。こちらはその時期になったら確認の連絡をしようと思っていましたが、直ぐ連絡を入れるべきだと思いました。

＊何人で行っても、どんな場所でも、私達 SDC グループは、質の高い上品な紳士淑女グループでありたいですね！！
これを読んでの皆様の感想、ご意見お待ちしています。

事務局の住所・メール等が変更になりました。
215-0018　川崎市麻生区王禅寺東 1-22-5
FAX　：　044-969-3009
Email　：　urg529@a3.ocv.ne.jp

石垣ツアー報告

453　松山　順子　　467　犬山　恵子　　他

◎松山　順子

大隅さん・犬山さん（№４６７）初参加 ・松山の三人で羽田出発。直行便で２時間と遅れて、プラス１５分石垣空港着。お世話になるアクアガーデン・社領さんが出迎えて下さる。通山さん(№４６８）とその友達福島さんは２２日から石垣入り、帰りは一緒。
来た日から曇り～雨で天候が良くないとのこと、明日の晴天を祈る！翌日はなんとか太陽も顔を出し、気温２８度・水温２６度 ・水深５～２０ｍ 。
ポイント“米原 W リーフ南”に潜る。天候が良くなかったわりには水中キレイ。珊瑚が繁り・魚がいっぱ～い！　ハナダイの群れ、モンガラ、クマノミ、ようようなチョウチョウウオetc トロピカルな水中。
ポイント“ごんべーえ”では水玉サンゴのなかにイソギンチャクエビが可愛い。ハゼ・スズメダイ・エビ・カニ・ヤッコ魚の宝庫でした！
一本潜った後､通山さんよりマスクがくもってるから、これで洗ってみたらと“べっぴんさん”と云う愛用のスポンジ（優れもの)、Ｏさんと私は早速、使わせて頂く・・・なんと！・・・ピカピカに、後のダイブはスッキリ＋ハッキリ魚を見ることが出来ました。Ｔさんありがとう！
二日目の終りに洋平さんより明日も“マンタ”はムリでしょうと！
つまり､会いに行けない海況で 残念でした｡がっかり。
一日２本のんびり・ゆったりダイブで（３本潜る人もいます）夕食までの時間を社領さんのお気づかいで、山河案内をして頂きました。

☆平久保崎灯台
　石垣島の最北端で素晴らしい、眺めがよく、リーフを一望でき、空気も美味しい！

☆玉取崎展望台
　北を見渡すと太平洋・伊原間湾も見渡せ、南国風のパノラマ展望台。

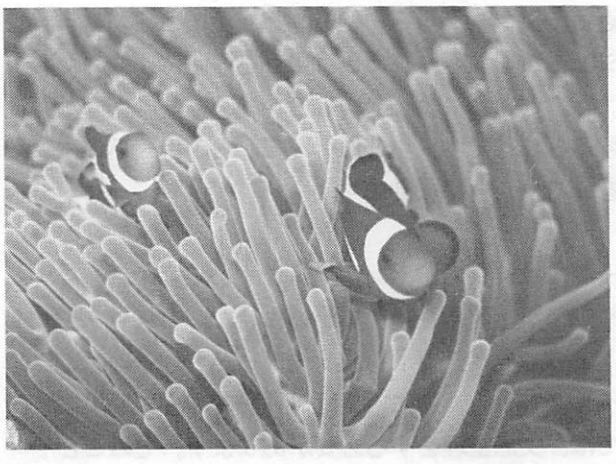
☆川平の高台より
　川平湾を一望、石垣島を代表する景勝地、黒真珠の養殖場もあり､きれいな真珠が出来るはずです。

☆マングローブの川辺り
　シオマネキ（カニ）を見に行く。ジーッと待っているとあっちこっちとピヨコ・ピヨコ姿をあらわす片方どちらかに大きなハサミがあり、大きくても２cm位、足音ですぐ穴に入ってしまう。

アクアガーデンが満室の為紹介のペンションで３人三泊する。主人が料理人、おいしい事、揚げたて・出来たてを“地ビール”“泡盛”で舌つづみでした。
最終２７日の夕食は全員で３日分の会話を充分楽しみ、写真撮ったり、デジカメ見たり、社領さん、洋平さん金ちやん（女性）とワイワイ食べて、飲んで愉しい一時でした。
アクアガーデンは色とりどりの“ハイビスカス”きれいでした・敷地いっぱいに花々が咲き乱れ、心の和む景観でした。
“マンタ”なしの石垣でしたが人は良く魚もいっぱい。宿も良い、食事も良い、星も大きく、ホタルまで見て満足、又行きたい！
楽しく皆さんと潜れて良かったです。メンバーの皆さん、ありがとうございました。

◎「初めてのツアー参加」　犬山　恵子

安く楽しく行ってきました！
13年10月に入会してから初めて、リーダー大隅照子さん「石垣島北部 10 月 24 日～28 日」に参加しました。毎回、季刊誌掲載のツアーを行きたい気持ちで何回も見、結果として勇気が無く参加しませんでした。
6 月の総会で大隅さんから沖縄に行きましょうと声を掛けられ「人数も少ないし今回参加者はグループが出来てないから」と言われ決心しました。



参加者は松山さん、通山さんとその友人、私です。今までショップ利用で少人数、最高齢者が私の為インストラクターの面倒見が良く、常に目をくばってくれるので安全、過保護なのか？状態でした。主人も安全の為に他の人と行く事を認めませんでしたが、ダイビングを始めて５年目、今回何も言いませんでした。
私がＳＤＣのツアー参加に迷ったもたう１つのわけは潜降時に限って耳抜きに手間取るので、皆さんと一緒に行動できるかでした。ところが毎回すんなり耳抜き

が出来、自信が付きました。やっと親離れ(インストラクターから)したかな？帰ってから主人に話すと「そんな事で自信を持つな、いい気になるな！！」と怒られました。私を心配していると感じました。
通山さんが出迎えに来てくれました。アクアガーデンは施設が新しく居心地の良いところでした。ダイビングでは親切に面倒を見てくれてシニアにはありがたく、安心して潜れました。又、ダイビング後には社領さんに車で島の観光に案内してもらい、石垣島の自然が多く美しい海岸線を、展望台から見ました。
今回参加して、同世代の仲間で気兼ねなく食事時の会話も楽しく、気分の良い時間を過ごしました。しかも松山さんがバーゲンチケットを並んでゲットしてくれたお陰で、安く行けました。ツアーリーダの大隅さんお世話になりました。
又こんな感じのツアーに、参加できればと思います。

◎社領　洋平(アクアガーデンのダイビングガイド)

シニアダイバーズクラブ会員の皆様こんにちは。石垣島北部でお店をやっている社領洋平です。
今回原稿の依頼が来まして、無い頭を絞って奮闘しておりますが、難しい事は抜きにして感想を書きたいと思います。
　まず来られた皆様への感想ですが、なんと言っても元気！！こちらが圧倒されるほどのパワーを皆さんお持ちで、ビックリしています。
僕がこの先何十年経って、皆さんほどのバイタリティーを持っていられるかが疑問です！？
さらに驚くのが好奇心の強さと、もう一つが感動を凄くストレートに表してくれる事でしょうか。こればっかりは若い人に分けてあげたいですね。(照れもあると思いますが)
あと最後に気になる事を一つだけ、皆さん準備が自分で遅いと思っていませんか？そんなに気にする事は無いですよ！お手伝いするためにスタッフがいるのですから。
それでは皆さん楽しいダイビングライフを満喫してください。(賛助会員　社領孝さんの息子さんです)

◎〝石垣島でＳＤＣのメンバーと私の出会い〟
福島　なるみ(通山さんの友達)

初めての石垣島は夏の気配を残しており、自然がいっぱいでグットでした。
私は１０月２２日～２８日にＳＤＣのメンバーである通山多恵子さんのお誘いで、格安エアーチケットもゲットして頂き、石垣島のアクアリゾートさんにお世話になりした。

私は年に１～２回、海外で潜って来ました。殆どが１人旅です。ダイビングは勿論ですが、その時に出会った人たちとの交流も毎回楽しみにしています。そして、多恵子さんとは去年、セブでお会いしました。

今回、初めてＳＤＣのメンバーの皆様（大隅・松山・犬山さん）にお世話になりました。

私は、ダイビングでシニアの方と会う機会がありませんでしたので、会う前は全てがゆっ～くりしているのだろうと思い、元来せっかちの私は、"焦らずに"を心がけようと考えていたら、皆さんとお会いし、イメージは一変、皆パワフルでびっくりしました。そして今までになく、ダイビングそして、アフターも本当に、心身共にリラックスして過ごせました。
　私は海に潜れさえすれば"幸せ"って感じで写真を撮る事には興味がなかったのですが、デジカメを犬山さんからお借りして、初めて写真デビューをし、いままでよりずっと海の子たちと仲良くなれたなと感じました。さらに潜る楽しみと期待が広がり、早速カメラを購入しようと思います。
　天候はイマイチでしたが､洋平さん&ガッツのある、きんちゃんの名ガイド。また多恵子さんには、ダイビング&魚の知識も親切に教えて頂き本当に楽しいダイビングでした。
　通常旅行は、潜りオンリーでしたが、リゾートのご主人に島内観光にも連れて行って頂き、すばらしい石垣の自然を目の当りにできとても感激でした。また、可愛い２匹の犬たちとも一緒に遊べ、今までより何倍も楽しむ事が出来ました。この一週間はダイビングもそうですが、ＳＤＣの皆様には経験豊富な人生観も学ばせて頂き、大変充実した石垣島滞在でした。本当に有難うございました。
次回のダイビングもまたまた楽しい思い出をいっぱいつくれる事を期待しておりま～す。
いつかSDCに入会したいと思っています。

SDCツアー計画一覧表(2003年)

ポイント名	日程	会員番号	リーダー名	旅行社他	概算費用	ツアー概要　・　(ツアーNo.)
グアム島DV＆遊び	3月中旬	26	良縁寺悦子	個人手配	80,000	グアム在住の馬場さんが現地リーダー朝食4DV付10名(301)
伊東白根DV＆秋祭り	10月14日～15日	〃	〃	ナッソー	27,000	2ボートDV、旅館1泊、OP2ボート有り、現地集合10名(302)
串本	9月中旬	〃	〃	個人手配	45,000	4ボート＆カヤック(OP)、交通費別。関西リーダー烏飼(303)
セブ島モアルボアル	1月16日～23日	287	石岡弘至	カンガルーツアー	150,000	全食・10ボート付往復セブ直行便。成田＆関空フィリッピン航空(304)
シパダン島	3月17日～24日	〃	〃	〃	180,000	全食、1日3ボート無制限ビーチ4日間付、往復ｺﾀｷﾅﾊﾞﾙ直行便(305)
マレーシア・レダン島	5月14日～21日	〃	〃	ﾜｰﾙﾄﾞﾂｱｰﾌﾟﾗﾝﾅｰｽﾞ	150,000	8ボートダイブ付ｸｱﾗﾙﾝﾌﾟｰﾙ直行便、成田・名古屋・関空(306)
モルディブ北マーレ	10月20日～27日	〃	〃	〃	150,000	全食付、ダイブはオプション。往復マーレ直行便(307)
デラワン	6月11日～20日	197	宇留賀達雄	ジスコ	270,000	全食・19ﾀﾞｲﾌﾞ以上。ｺﾀｷﾅﾊﾞﾙ⇔ﾀﾗｶﾝﾁｬｰﾀｰ便。100本以上(308)
伊豆大島	9月5日～7日	〃	〃	グローバルスポーツ	50,000	ボートDV併用。前泊・延泊自由。初心者歓迎(309)
パラオクルージング	4月中旬	12	関川清一	スポートツアーズ	180,000	経験本数50本以上(310)
石垣島(A)	5月7～11日	〃	〃	G－FREE	100,000	現地集合、4泊。変更自由、AB連泊可、30本以下優先(311)
石垣島(B)	5月11～14日	〃	〃	アクアガーデン	100,000	〃　(312)
西表島	6月20日頃	〃	〃	P.I.T.	150,000	ホットマングローブ、宿・ペンションバフ、4泊、8名以内(313)
アニラオ	3月2日～7日	6	大隅照子	ビーバーズ	130,000	安全性の確保に不安がある為中止しました。(314)
サイパン	5月12日～16日	〃	〃	ｱｲﾗﾝﾄﾞｵｰｼｬﾝﾂｱｰ	100,000	カメラ派、じっくりウオッチング派向き。ボートDIVが主(315)
伊豆海洋公園	2月上旬	62	狩野幸繁	ナッソー	12,000	ドライスーツ着用。6名定員。(316)
石垣島北部	5月連休明け	〃	〃	G－FREE	120,000	4泊5日、6～10名(317)
伊豆海洋公園	7月上旬	〃	〃	ナッソー	12,000	平日日帰り、アオリイカの産卵観察.(318)
伊豆海洋公園	9月中旬	〃	〃	〃	12,000	死滅回遊魚探察、初心者歓迎6名。(319)

SDCツアー計画一覧表(2003年)

ポイント名	日程	会員番号	リーダー名	旅行社他	概算費用	ツアー概要 ・(ツアーNo.)
伊豆大島	10月上旬	62	狩野幸繁	グローバルスポーツ	55,000	2泊3日、6ビーチダイブ、平日挙行、本数の少ない方OK。(320)
スキルアップ大阪	5月24日～25日	30	杉本信也	マリン	12,000	(321)
スキルアップ白浜	9月6日～8日	〃	〃	〃	50,000	2泊5食ビーチ&ボート指導料込、ファンDV45.000円(322)
小笠原ロング&ショート	6月後半	132	岡野博	P.I.T	16～28万	往復1等船室、ショート6日間16万円、ロング12日間27.8000円(323)
パラオ・カープアイランド	1月28日～2月2日	56	石田邦明	WTP	194,000	5泊6日、4日間8ダイブ付、サブリーダー坂東正朗(2日間コロール泊)(324)
北海道スキーツアー	2月10～13日	320	清原れい子	JASナイスウイング	63,000	3泊4日、ルスツリゾー、飛行機・朝夕食・リフト込み(325)
湯沢スキー&雪見酒	1月14日～16日	323	真杉靖夫	各自	12,000	ペンションタケコシ、1泊2食宴会温泉込料金。交通費別。(326)
シパダンツアー	5月22日～28日	333	阪上洋	オーシャンダイビング	200,000	往復運賃・宿泊・シパダンでの全食・ダイビング込(327)
〃	6月19日～25日	〃	〃	〃	200,000	〃 (328)
〃	10月2日～8日	〃	〃	〃	200,000	〃 (329)
〃	10月16日～22日	〃	〃	〃	200,000	〃 (330)
〃	11月13日～19日	〃	〃	〃	200,000	〃 (331)
バリ・サファリ	3月7～14日	276	熊倉政美	未定	150,000	テロの為中止としました。(332)
ボラカイ島(フィリッピン)	5月～6月	98	菊川清氏	未定	15～16万	ハゼ&ウミウシの宝庫、定員6名(333)
コーラルシー&ヨンガラレック	12月上旬	26	良縁寺悦子	スーパースポーツ	28～30万	8泊9日、10名定員(334)
ガラパゴス	3月15～23日	505	永吉拓也	フリーウエイツーリスト	518,000	ボートチャーター済。主要ポイントで8DV、&上陸観察11名(335)
レッドシーDVクルーズ	5月10～19日	〃	〃	〃	298,000	無制限DV。直行便利用。カイロ・ルクソール観光可。(336)
エクスマス	6月11～20日	〃	〃	〃	348,000	高確率で遭遇シーズン。ベスト中のベストシーズン。(337)
ココアイランド	9月～10月13日間	〃	〃	〃	598,000	最も魚影の濃い時期。アグレッサー号利用の予定。(338)
タヒチ・ランギロア環礁	10月14～21日	〃	〃	〃	348,000	魚影の濃い時期。8DV付。日本人スタッフ在籍サービス利用。(339)
マラブ(ニューカレドニア)	11月10～18日	〃	〃	〃	298,000	ニューカレ北部の秘蔵ダイブリゾート。8DV付。(340)
イルデパン(ニューカレドニア)	12月8～13日	〃	〃	〃	188,000	ベストシーズンのダイブサイト。4DV延泊可。(341)
エクスマス	5月3～12日	323	真杉靖夫	ワールドツアーP		

宮古島クルージング

413　野崎　光子　　012　関川　清一　　10月31日～11月5日

☆野崎　光子

色々と思い巡らしているうち宮古島到着。空港よりタクシーでニイヨンノースへ行く途中の事。どちらへと聞かれ、「ニイヨンノースへお願いします」と言ったら、運転手さんが振り返って、私と小西さんを見て一言、「ニイヨンノースへ行くのは、若い人だけだよ。今迄乗せた人は皆若い」っていきなりです。私と彼女びっくり、「えっ、これって」と声を詰まらせてしまった。運転手さんジョークねと言っているうち無線が入り何と「ただ今美人二人乗せています」だって、あきれたね。さあニイヨンノースへ、乗船ヨットはグリーンフラッシュ。考えていたよりずっと大きく、快適だった。渡真利船長、ガイド兼食事作りの宇佐美さん（27歳）とてもきれいな人、他私達八人計十人で四泊クルージング旅。

一日目の夜、この晩十一月に蛍が一匹私達一人一人を歓迎するかのように、キャビンに飛んで来て皆を喜ばせてくれた。電気を消して真夏の一時かと思うように、散骨の話を少し前にしていたのでもしか散骨した人が会いにきてくれたのかとかもと、大いに話が沸いた。

この船の食事はこったもので無いのに、とても美味しかった。最後のカレーは私が作るカレールーと同じなのに何故あのように美味しいのか。ガイドをして、ヨットに戻っては食事作り。まったく良く小まめに働く、感心である。まあともあれ十四本ダイビングした。ケープ有り、中国の柱株のような地形もあり、砂地もあり楽しかったが、洞窟は参ったね。ブリーフィングでは、フィンを使わず手で一歩一歩進みましょうの筈だったのに何故か私の手は頭を隠し、腰を低くして進んだのです。おまけにマスク迄横ピンタ食らう始末。これまったくいやだったね。ガイドだった船長、「あんた可哀想だったなあ」見ていないと思っていたけれど、ちゃんと見ていたのですね。これも宮古島の思い出の一つ。最後の晩の打ち上げです。地元でも有名な「蔵」トイウ居酒屋でした。船長が少し遅れて見え、最後の締めをしました。古式宮古に伝来するお通りという儀式です。まあいわば神のお言葉を、親になる人を通して心を一つにして成し遂げると言う回し飲みです。親になる人が泡盛のロックを一人一人回して、その都度神に心を一つと誓うのですが、茶々を入れると余計飲まされるという船長の音頭で宮古らしく夜を過ごしました。薄かった泡盛ですが二日酔いと言う方も。このたびチェックダイビングで百本となりました。このことを前もって友人の小西さんが聞きつけ、素晴らしい横断幕を準備してくれました。昨年式根島・新島の時、彼女が百本となり、宇留賀さんの繊細な感性で作られた横断幕を元に、彼女の寛大なる器量を加え作られました。余白には、船長・ガイド・同行者皆様のサイン入りの私にとっては勿体ないほど記念になりました。しかし残念なことに、横断幕で写した写真が透明度が悪く、今回お見せすることが出来なくてまことに残念に思っています。同行者の皆様、百本記念、本当に有難う御座いました。又来年も行くぞぉ。

ニタリ、ハンマー君、待っててね。

同行者：関川会長・大明美代子・米倉綾子・布澤信子・西谷サヨ・野村深雪・小西ゆみ子・野崎光子

☆関川　清一

グリーンフラッシュに乗ってきました

10月30日宮古島着、その日ホテルに泊まり、翌31日午後、マストが天高く突き出た、真っ白でスマートな待望の双胴船グリーンフラッシュ号に乗り込みました。乗船中の注意、ダイビングスタイル等のレクチャーを受け部屋割りやバディーを等を決めていよいよ1本目は、メンバーの野崎さんの100本記念ダイブでした。バディーシステムを厳守、セットも隣り合わせにして。2日目3本、ナイトあり、3日目早朝ダイブの後3本、4日目は下船日で波もちょっと高く1本で終わりました。11月4日下船。宮古セントラルホテルに一泊、翌5日帰郷で無事終了。

気温28°～25°、水温26°、天候曇り時々晴れ、ピーカンではなかったがまあまあでした。食事中や夜は波の全然無い静かな海に停泊、船酔いはありませんでした。

一見危なかった話　その（4）洞窟

333　阪上　洋

シパダンに行った方は、ご存知と思いますが、あそこには、ドロップオフに洞窟があり、過去に２ダイバーが死んでいます。皆さんの知っている洞窟は、「タートルカーバン」で、大きく口が開いた洞窟です。もともとはカメの死体が一つしかなかったのが、その後、ガイドが持ち込み、イルカだの、カメだの死体が散乱してます。これとは別に、「タートルツーム」があります。これは隣接して、中でタートルカーバンとつながっています。入り口は、一人が横になってやっと入れる、狭い入り口です。入った途端、真っ暗闇で、自分の入って来た入り口がわかりません。恐怖の洞窟です。シパダンを最初に開発した、ロンと二人でタートルツームに入ったときです。真っ暗闇にロンの姿が見えません。出口も見つかりません。そこで、ライトを３６０度回転したところ、ロンは電池切れで、すぐそばにいました。それから２人でくっついて、私は、ロンの排気音で存在を確認しながら、潜り進みました。ここは、6つほどの部屋にわかれていて、カメの死体が２、３あります。

ほこりを舞い上げないように慎重にもぐりました。ここだけは、入ったことを後悔しながら潜ったポイントで２度と潜っていません。その後、タートルカーバンに女性ダイバー（外人）６名がもぐることになり、ロンが後ろについてくれというので、全体が見渡せる位置で、一緒に潜ったとき、途中で、１人ダイバーが消えた？！？！いくら数えても、１人いない！！！
ダイバー1 人が電池切れで、他のダイバーにぴったりついていたため、私からは確認できなかったとわかり、一安心。ナイトダイビングの時、新しい電池に交換して入りましょうと言っても、電池切れを起こすダイバーがいます。陸でライトがつくので、いいだろうと潜ると電池切れになり、エキジットして、しばらくすると、またライトがつくという経験をした方もいると思います。水温は、気温より低いため、水中で、電池の能力が下がり、ライトがつかなくなるのです。ナイトの時は、惜しまず、新しい電池に交換してから、潜りましょう。

日本シニアダイバーズクラブ会員の皆様へ

Y.A.Planningからのメッセージです！！

Y. A.プランニングの新井です。
海外旅行傷害保険はもちろんのこと、
日常の保険におかれましても、ぜひご相談下さい。
自動車保険、火災保険、生命保険など
あらゆる保険を取り扱っております。
皆様のライフスタイルに沿った保険を
ご提案いたします！
「あなたの保険を一緒に考えたい」…
それが私のモットーです！

SDC 会員の皆様には
いつも勇気を頂いて、
私も元気よく
頑張っています！
そんな私が少しでも
皆様のお役に立てれば
幸せです。
お気兼ねなく声を
おかけ下さい！

三井住友海上五反田支社代理店

Y.A.Planning

Y. A. Planning　新井良子

TEL　044-861-0512
携帯　090-8948-7751
FAX　044-861-0503

〒216-0035
神奈川県川崎市宮前区馬絹 2006-1-305

メールお待ちしています！
arai@intoss.com

ホームページもご覧下さい。
http://www.dairitenhp.com/yap/

皆様のダイビングライフをグループでお手伝いします。

Club Noah
GROUP OF COMPANIES
クラブ・ノア グループ

私たちクラブ・ノアは、国内、海外にポリシーを同じとしたグループを中心に、ダイビングのトータル的なネットワークを展開しています。皆様のご要望のペースに合わせ、１つ１つ手作りで対応させて頂きます。
「新しいツアーはないかしら？」「久しぶりだから技術のリフレッシュをしたい？」「水中写真を始めてみたい？」ご希望、ご質問等何でもお問い合わせ下さい。

クラブ・ノア大井町特選ツアー

★第一弾　透明度抜群・乾期のモルジブ８日間　２月９日（日）～１６日（日）・８～１２ダイブ

★第二段　ベストシーズン IN パラオ７日間　３月１６日（日）～２２日（土）・８～１２ダイブ

★第三段　ゴールデンウィーク IN メナド　７日間　４月２７日（日）～５月３日（土）・８～１０ダイブ

★第四段　アジアの秘島　IN ラヤンラヤン　８日間　８月９日（土）前後～　８～１０ダイブ予定

★スペシャル番　未開の海「トカラ列島」ＩＮ　鹿児島　７月開催予定ご期待ください！

詳細はお問い合わせください。

クラブ・ノア大井町のツアーはすべてインストラクターが添乗いたします。
初めての場所、スキルに不安がある方、ブランクがある方にも安心してご参加いただけます。

ツアーの前にスキルチェックは大丈夫ですか？
ＳＤＣ会員様にツアー参加前のプールでのスキルチェック・アップ講習の特別割引企画継続中！！
会員通常価格 7,000 円→特価５，０００円で実施します。都内の駅ビルのダイビングプール（水深４M、水温３０℃）でスキルの見直しをしましょう！

「小笠原・母島」「和歌山・すさみ」「徳島・牟岐」「島根・隠岐」各クラブ・ノア施設のお問い合わせ：
クラブ・ノア事務局
（株式会社ネイチャーネットワーク）
〒106-0031　東京都港区西麻布 1-1-3 ワダビル２階
TEL：（代表）03 - 5410-0255　FAX:03-5410-0256

お問い合わせ･ご予約：クラブ・ノア大井町
〒140-0014　東京都品川区大井 1-2-1　アトレ７階ジェクサーフィットネスクラブ内
営業時間　１２時～21 時まで（土日祭：19 時まで）　　※月曜定休日
TEL：０３－３７７２－５０１４　FAX：０３－３７７２－５３９３

SDC賛助会員通信

＊ G-FREE DIVING SERVICE

月刊マリンダイビング誌２００２年ダイブ＆トラベル大賞で、国内第一位に輝く石垣島。その中でも最も新しくかつ、話題沸騰の北部エリア「伊原間」。
ボートで５分、「伊原間リーフ」の中、きらめく手つかずの珊瑚礁は世界的にもトップレベル。また、マンタポイントへもひとっとび。
そんな理想的なフィールドをベースに、私共ジーフリーダイビングサービスは運営を行っております。
『ハイクオリティなサービスとダイビング』をモットーに、２００２年は同大賞でベストガイド部門７位、ベストサービス部門１６位を受賞。
そしてこれからも日々努力を重ねて皆様のお越しをお待ちいたしております。
なお、ご宿泊をはじめ航空券等の個別手配も承りますのでお気軽にご一報下さいませ。

G-FREE DIVING SERVICE
(ジーフリーダイビングサービス)
代表　　林　豊

Mailto： info@g-free.net
HomePage : http://www.g-free.net
〒907-0332
沖縄県石垣市伊原間 26-29
TEL&FAX　0980-89-2191

＊ ぷちアイランド

東京品川の戸越銀座にショップ、八丈島の中之郷に営業所があるダイビングサービスです。
ＳＤＣの皆様には是非一度、八丈島の海を潜って頂きたいと思います。
近年のダイビングはあそこの海に行けば……が見れます、とか、……が見たいのであの島へ行ってきます。というのが主流ですが海とは、ダイビングとは何が出るか分からないのが面白いのではないのでしょうか、もちろん何日間も、何十万円もかけて、お目当ての大物や小物を見るのも良いでしょう、しかし、ぷちアイランドの営業所がある伊豆七島の八丈島には今だ何が出るか分からない面白さがあるのです。
もちん何も大物が見られない時もありますが、彼らが群れをなして現れた時の感動は計り知れません、それが黒潮の海なのですから。八丈の海は年間通して透明度と地形は裏切りません。ただ悲しいかな年間通して潜れるという海ではなく厳しい島で、冬から３月までは冷たい北西の風が吹き荒れるため、船も港から出港できず全面クローズの時が何日もつづきます。そこで４月から来島をお勧めします。ＳＤＣの会員の皆様にはお１人だけの参加からボートダイブもビーチダイブもガイドさせていただきます。
是非一度おこしください、ご相談、連絡お待ちしています。
２ボートダイブ　¥18,000
２ビーチダイブ ¥12,000
１泊２食付き ¥7,000
(税別)
141-0033　東京都品川区西品川 2-7-16
ＴＥＬ０３－３４９５－７０１５　ＦＡＸ０３－３４９５－７０５４
携帯　090-3409-8954
東京都八丈島八丈町中之郷 2573
呼び出し ０４９９６－７－０４４０
petit@highway.ne.jp
http://home4.highway.ne.jp/p-island

＊ P. I. T

千代田線の代々木上原駅、徒歩１分にあるダイビングショップ＆ツアーデスク。特徴は、ダイビングショップである P.I.T ダイビングクラブと旅行会社であるパラダイスアイランズツアーが併設してあることです。

●沖縄や海外ツアーに参加したいけどダイビングスキルに自信がない方や、ブランクの空いてしまった方に、ダイビング専用プールでスキルアップコースをご用意しました。
【リフレッシュ＆スキルアップコース開催！】
コース代金¥14,000（3時間）２名様より開催

●ツアー参加される前に器材の点検大丈夫ですか？
レギュレーターは１年に一度のオーバーホールはかかせません。

SDC賛助会員通信

お持ちいただくか、送ってくだされば１週間から 10 日で仕上がってきます。
どちらのメーカーでも OK です。

1) 沖縄４日間Ｃカード取得コース...￥５９，７００.～（申請料¥6,000 は現地払い）東京で学科講習終了後、沖縄４日間でＣカードが取得できます。
※航空運賃、宿泊費、食事（朝食付）、講習費、教材費、器材レンタル料が含まれます。
2) 伊豆Ｃカード取得コース¥60,000（全費用込）
東京で学科・プール講習を終了後、伊豆１泊２日でＣカードが取得できます。
※交通費、宿泊費、食事（朝・夕食付）、講習費、教材費、Ｃカード申請料、器材レンタル料が含まれます。
（現地での昼食代は別途かかります。）
※マンツーマン講習も可能です。ご相談ください。

Ｐ．Ｉ．Ｔ
ダイビング部門責任者：雨尾 徹
（直通）03-3466-6482
旅行部門責任者：松山 中（あたる）／小林 健一
（直通）03-3466-6489
〒151-0061 渋谷区西原 3-7-4 渡部ビル１Ｆ
http://www.pit-diving.com
（ダイビング部門）diving@pit-diving.com
（旅行部門）travel@pit-diving.com

＊ フリーウエイツーリスト

ダイビングはもちろん、ガラパゴス・アフリカ・中南米などの大自然を舞台にした旅をお届けしています。

この度、賛助会員として参加させて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

フリーウエイではモルディブなどのメジャーダイビング地域はもちろんですが、アフリカ・中南米への陸上のツアーも得意としています。それゆえダイビング+陸上観光の組合せや、まだ一般には出回っていないダイビング地域への手配も手掛けています。

下記に得意な地域・旅行例などご案内いたします。「これは！」という地域がありましたらぜひご連絡ください。SDC 様用としてご案内いたします。ツアーリーダの方へのご負担の軽減や、個人単位でもお申込みいただけるようなツアー設定など臨機応変に対応させていただきます。

★モルディブ
◎ ダイブサファリ（クルーズ）「ブルーKサファリ」目的・レベルにあわせて選べる２隻のサファリを取扱っています。もちろん日本人イントラ乗船。
◎ 85 リゾート取り扱い OK。現地イントラと直接コミュニケーションのとれる安心のリゾートも多数有.

★レッドシー（紅海・エジプト）
◎ 日本からの送客実績 NO１。現地ダイビングサービスとの連携で日帰りダイブ・ダイブクルーズ・遺跡観光との組合わせなど様々なアレンジが可能です。

★ ガラパゴス
◎ ダイブクルーズ・ホテル滞在ダイビング・上陸の観察。ガラパゴスについてはすべてお任せください。4 名様程度からのチャータークルーズも OK です。

★他得意なダイビング取り扱い地
◎ タヒチ・フィジー・ニューカレドニア・ラパス・GBR・パプアニューギニア・スミランは担当者が詳しくご案内できる得意地域です。

★ 冒険の海へ！（好奇心旺盛な方・ご注目下さい）
◎ ココ島（コスタリカ）・ペンバ島（タンザニア）・ノシベ、イファティ（マダガスカル）・アルダブラ環礁（セイシェル）・エクスマス（西オーストラリア）・などの世界的には有名なダイブサイトや、イースター島（チリ）・ホオジロザメケージダイビング（南アフリカ）・などここでしかできないような記念ダイブとなる海への手配も行っています。

★大自然・遺跡をテーマにした得意な取り扱い地域
◎ ケニア&タンザニアサファリ◎南部アフリカ周遊（南ア・ボツワナ・ナミビア・ヴィクトリアフォールズ）・マダガスカル◎中南米周遊（ペルー・ブラジル・ベネズエラ・コスタリカ・パタゴニア）はお任せください。陸上観光だけではなく、ダイバーならでは楽しめる陸&海の組合せツアーを最も得意としています。

私たちはスタッフ自ら興味のある地域を担当し商品開発していますのでニーズにあわせて臨機応変に対応させていただいています。活発なＳＤＣの皆様にぜひ体験していただきたい地域です。まずはお気軽にお問合せください。当社の広告・ホームページもご覧下さい。

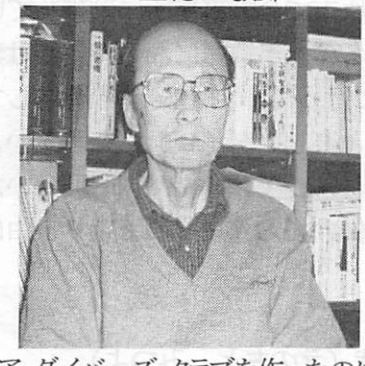
SDC賛助会員通信

これからも新しい旅をどんどん紹介してまいります。
よろしくお願いします。
お問合せの際はＳＤＣ会員です・とお伝えください。
担当：永吉　拓也（ナガヨシ・タクヤ）
株式会社フリーウエイツーリスト

〒103-0022
東京都中央区日本橋室町 1-5-2 東洋ビル 9 階
電話：03-3231-0730　ファックス：03-3231-0731 ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ：0120-36-0730（首都圏以外の地域より）
ホームページ　www.fwt.co.jp
メール　nagayoshi@fwt.co.jp

出会いのこと

010　上村　敏郎　　2002.11.17



「出会い」のことといえば、まず頭に浮かぶのは「一期一会」という言葉です。一期というのは一生のこと。一会は文字通り人との一度の出会いのこと。もともと茶会の心得から出たものです。利休の弟子宗二の「山上宗二記」に「一期に一度の会とみゆる」とあるところに語源があるようです。「人と人が会うのは、一生に一度の機会と思って誠意を尽くすべきだという教え」という解説は、旺文社の「成語林」からです。

私事ながら、私がダイビングを始めたのは定年退職後の 61 歳のとき、日本シニア・ダイバーズ・クラブを作ったのは、それから 10 年後の 71 歳のときです。きっかけは、1994 年4月号の「マリンダイビング誌」に載った「さあ、シルバーエイジ軍団を結成しよう！」という座談会の記事です。ダイビングを始めて 10 年間、潜る相手と言えば、ダイビングショップのツアーのほとんどが 20 代の若い男女ばかり。まるで宇宙人のような、脈絡のない意味不明の会話ばかりで、アフターダイブの寂しさを感じたものです。

水中造形センターの舘石昭社長とは二度ほどしか面識がなかったのですが、一度は台風に遭遇した西表島、もう一度はモルジブ・バンドスでレニー・リーフェンシュタールとご一緒の時でした。多分、舘石さんの記憶にあるはずだと勝手にきめつけ、手紙でクラブ結成の援助を頼んだわけです。

座談会の最後のところに「本誌座談会に出席された上村氏の提案により、シルバーダイバーのグループの結成を考えております。ご希望の方は申し込んでください」というコメントがあり、40 名弱の方が雑誌を経由して会員になられました。

いまでも、絶えず思うのは、この会の目的はなんだったのかということです。もちろん同年代のダイバー仲間が欲しいことには違いはありませんが、もっと何かがあるべきだという反芻が今も続いています。茶の湯の中から、人と人の出会いについての箴言が出てきたのには、なにか意味があったに違いないと思うのです。ササラ型の人間関係などと小難しい丸山真男の哲学を持ち出したのも、クラブの性格に何らかの意味づけをしたかったからです。このクラブは単なる同趣味のシニアの集まりじゃないのだと言いたかったからです。ちかごろコンピューター「おたく」のような人に出会うことがありますが、「ダイビングおたく」の集まりにはなってほしくありません。ダイビング仲間の彼方に、大人の人と人の関係があってほしいと思うわけです。クラブダイビングではいろいろ個性的な魅力ある方々と知り合うことができました。ダイビング抜きの付き合いも生まれました。一期一会の出会いはたしかにあったと思います。

同時に、世界観、人生観の違う方との付き合いや、考え方を伝えることの難しさも痛感しました。趣味を通じた大人の付き合いは、易しくはないようです。欧米でのクラブやサロンは、趣味を核とした大人の付き合いに意味があるようです。私たちのクラブがどういう自前の形をつくることができるか、楽しみながら見つめていたいと思う昨今です。

ヴィンテージな会に参加して

498　島津　眞佐子

＊　ヴィンテージな会に参加して

島津眞佐子

カナズチを克服する為、スイミングスクールに通い始めた１４年前、そこで７０代の女性グループの皆さんがフィジーへのダイビングの計画をしているのを耳にし、羨ましい思いをしたことを思い出されます。

夫の両親を見送り、子供達を社会に送り出し、念願のダイビング！！

夫が共に歩み出してくれ・・・・最高のBADDY！！！

なにより気兼ねなく、便利で（ゴメンナサイ・・）都合のより良い相棒であることに違いありません。

９月初旬、RED　SEA　で２００本を迎えやっと海の中を満喫できるゆとりが、出来たような嬉しさで一杯になりました。将来どちらか、欠けた時、同じ趣味を持つ、気の合う仲間がいてくれたら・・・・・そんな心強いことは、ありませんか・・・？？

諸先輩方々のお話をうかがい、とても良い刺激と勉強をさせてもらえたひと時でした。

楽しかった「ビンテージな会」

国崎　康夫

その日は超大型台風２１号が関東地区を直撃するとの予報が発せられ、朝

から風雨が強く出来れば外出は控えたい気分でした。

会社でも業務に支障が無ければ午後３時過ぎには退社するようにとの指示が出ておりました。

「ビンテージな会」へお誘いを受け参加すると返事をした事を少し後悔しておりました。

この気持ちは台風で悪天候のせいばかりで無く、初めての会合に参加する気後れと不安が交じり合った複雑なものです。

5 時頃には風雨がより強くなり、ひょっとすると中止になっているかもとの淡い期待？を持ってホテルへ電話したら「キャンセルは受けてない」との返事。

開宴時間に少し遅れて会場に着いた時は 15 人程度の先輩方が楽しく歓談をされておりましたが、私を見るなりすぐに席を勧めてくださり本当に温かく迎えて頂ました。

495　国崎　康夫

一杯のビールを飲む間に皆さんの温かい雰囲気にすっかり飲み込まれ旧知の間柄みたいにリラックスし十分に歓談いたしました。ダイビングの楽しい話や、ＳＤＣのツアー、行事など先輩の方々が席替えをしながら次々と話かけして下さり、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。不謹慎にも私はダイビングよりスキーが好きですと話をしたところ、清原れい子さんからスキーツアー勧誘を頂きました。仕事のやり繰りをして参加したい気になってしまいました。

ホテルの２７階（会場）から外を見ると横から雨が降っている大変なで悪天候でしたが、最初の不安など何処か吹っ飛んで豊かな気持ちで帰路につきました。

私のOW経験は１年半で２０本の初心者ですが、ＳＤＣの入会を契機に２年以内に１００本を目標にアクティブなダイバー？を目指したいと考えております。

仕事面、金銭面の制約があり長期のツアーの参加は難しい面はありますが皆様との触れ合いを多くしダイビングを楽しみと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。

第８回ヴィンテージな会への誘い

久々に恒例の「ヴィンテージな会」を開催いたします。要領はいつもの通り。

会員どうしが楽しく語らい、くつろぎ交流を深める集い。SDC の新年会や懇親会よりずっと小規模で、その分親しみも深まります。

新宿の高層ビルからの素晴らしい夜景を眺めながら、飲み・食べ・語らい、夢のような一夜を共にしませんか。初めての方・遠隔地の方・賛助会員の方々大歓迎です。気楽に直ぐ話の輪に加われます。

記

日時：3 月 6 日（木）17 時 30 分～21 時

会場：新宿西口・都庁前

ホテルセンチュリーハイアット 27 階

<ラプソディー>

会費：5,000 円

申込：メール又はファックスで（3 月 3 日迄）

urg529@a3.ocv.ne.jp　　044-969-3009

宇留賀　達雄

掲示板

命からがら･･･2002.10.07
なんばあ124
U氏企画の大島ツアーの翌日、今頃は２本潜り終え、熱海行きの船に乗り込もうとしていたはず。
それがこの時間に書き込み？！
それは聞くも涙、語るも涙の“恐怖の宿舎崩壊”のため！夜半より雨と雷がひどくなったと思った午前３時ごろ、突然「ガッシャーン・メリメリ・バリバリ」を一辺に叩きつけたような轟音と爆風にメンバーのH女史の部屋が崩壊、と同時に隣のT女史の部屋に襖が叩きつけられ、ガラスの雨。何が起きたのか分からない中でも安否を確認し、O女史がスリッパを届けてくれ避難。我々の部屋は電気が切れていたけど、他は大丈夫だったので冷静に行動（したつもり）。
明るくなるまで、不安な夜を３人一緒に過ごし、６時ごろ外に出て驚いたのなんの！局地的に発生した竜巻のせいで予想以上の被害。私の借りてたレンタカーなど５m以上も吹き飛ばされ向きも変わっているんですから。
当然ガラスは割れ、中は水浸しのゴミだらけ･･。
（保険は適用できるとの事だけど、休業補償とやらは請求される･･･涙）
言葉ではあのひどさを説明し切れませんが、写真を撮ってきましたので「慰める会」でも開いてくれたらお見せしましょう。そんなこんなで、ダイビングどころではなくなり、中止。雨の吹きつける中を器材のパッキング。そうこうしていると大島ツアー第２陣のK氏到着。ノー天気に「何で止めちゃうのぉ〜?」それもそのはず、知らぬ間にお天気はどんどん回復、青空が見えてるではありませんか。大島内でも、竜巻発生M荘崩壊のことは全然知らないんですから。でも３人は帰りの船も早め、一路家路に･･。命があっただけものだねと。本当にすさまじく、K氏等もあのM荘泊れなくなったはず、どうしたのかその後を聞かせていただきたいです。以上、ダイビング報告ではなく被災報告でした。

不死身！･･･2002.10.7
№6　大隅
大島での出来事です。こんなショックなことに出くわすなんて！
民宿にて真夜中の３時頃、激しい雷雨と雨、突然ものすごい音！暫く静寂の後「助けてー、助けてー」のか細い声！パジャマのままで飛び出した私、現場の凄さに唖然！！部屋の中は屋根が吹っ飛び重いドアーが、畳が、ガラスが、テーブルが散乱！竜巻が襲ったのです。パニックそのもの。
そのガレバの中からムクムクと這い出てきた２人のTさん、Hさん。死んでいても不思議ではない状況だったのです。竜巻が後３mずれていたらこの私も･･･。
怖かったーッ！ＳＤＣ３人の淑女は不死身です。これから長生きさせてもらいますね。詳しいお話はTさん、Hさんに聞いてください。

えーッ！！！2002.10.07
K−タン
な、なんと･･タ・ツ・マ・キ！？･･･信じられない！１歩間違えれば私も･･･だったんですね。これは是非ともお慰めせねば。私目にどーんとお任せくださいと言いたい所ですが、あーー情けない。U様ＳＯＳですぅー。でもホントにご無事で良かったです。

ひえー！2002.10.07
mamida
伊豆大島に竜巻発生とは聞いていましたが、まさか一昨日泊ったばかりのM荘直撃で、残留組のお３人が災難に遭遇するなんて！
事実は小説より奇なりとはこの事ですね。
それにしてもご無事でよかった！
海より陸地の方が危険が一杯かも。

4000

掲示板

何ということ‥。2002.10.7
URU×URU

本当に何ということでしょう。
僕達が帰るまでは大島は晴天で、海も限りなく穏やかだったのに。
６日の夜から前線を伴った低気圧が近づくとは天気予報では伝えていたのですが、まさか竜巻が発生し、泊っている宿舎が倒壊するなんて想像すらできませんでした。
この事件は夜中の３時半、O女史から携帯メールで知らされました。早朝のＴＶニュースでは横須賀で突風による被害を伝えていましたが、大島の件は何もニュースにはなっていませんでした。
それにしても不幸中の幸いというか、ご無事で何よりでした。
大変な思いをされて、ショックを受けられてお帰りになった３人の女史がおられるのに、今回のツアーでは、４ｍもの「ニタリ」が出て、しかもクリーニングの為１０分近くも目の前をゆっくり回遊してくれた‥‥なんて事、言えないですよね。

良くご無事で！2002.10.8
047・のりたま・たけ

久しぶりに覗いた掲示板、びっくり。
伊豆大島に竜巻が起こり。
それも一軒のM荘だけに直撃！‥なんと宿にはＳＤＣの熟女 3 人が泊っていたとは‥‥文面からは凄まじい光景を想像できますが、現実はこんなもんじゃ無い筈。
兎に角３人ともご無事で何よりでしたね。強運といいましょうか、悪運が強い（失礼！笑）と言いましょうか、擦り傷程度で良かったですね。M荘の近くの宿仲間のＯグランドに電話を入れた所「～そうなのよ、M荘だけ大変な被害だったのお～」と。ニタリに当たったけれど、竜巻にも当たった～～お疲れ様でした。

熟女が当たったのは竜巻だけ 200.10.08
URU×URU

竜巻に見舞われた熟女３人は残念ながら、あの魚類のなかで、いちばん美しい姿をしているだろうと言われるニタリを見ても、当たってもいないのです！！当たったのは竜巻だけです。お気の毒としか言いようがありません。慰め会という名目で、思いっきり傷口に塩でも擦り込んでやりましょうか。

なんと言われようとも‥‥2002.10.09
なんばあ 124

フツフツフツ　おっしゃいましたわねUさん。我等にその程度の嫌味・皮肉は通じませんわよ。ダテに半世紀も生きてきたんじゃございませんのよ。そう我等が当たったのは竜巻だけ、ニタリにはかすりもしませんでした。でもね、ニタリに当たった方は、竜巻にかすりもしなかったんじゃございません？
あの大島で、ニタリに遭遇した人数と竜巻に遭遇した人数を比較して御覧なさいな。
どっちの方が稀有な体験をしたか‥‥フツフツフツ我等の勝ちね！

わたしの黒いパンツは何処へ行ったのでしょう？
200.10.10　　話題のHです。

キョウフの体験から今日でもう３日。まさかホームページで自分が酒の肴になっているとは夢にも思いませんでした。心やさしい慰めの一つも期待していましたのに。か弱いわたしがまるで図太い熟女のような記述に心が痛みました（笑）。ダイビングの写真がちょうど今日出来上がり竜巻後に撮った（！）記念写真を早速見た所、大きなテーブルの吹っ飛んだ下にわたしのちょうど寝ていた蒲団が。恐ろしいわ～～。早速フォトギャラリーに掲せなくては。こんな災難があったのだから、今度は良いことがあると信じています。早速宝くじでも買いましょう（！？）尚わたしは、名誉の為に申し上げておきますが、正確にはパンツではなく水泳用スパッツです。今後大島に行った方は、道や木にぶら下がっているパンツを見ても、私のものとはゆめゆめお思いにならないで下さい。

掲示板

第2回スキー＆雪見酒ツアー

越後湯沢でスキーと温泉！
（スキー出来ない方も大歓迎）
於：ペンション･タケコシ

好評にお応えし、第2回のスキー&雪見酒ツアー。
スキーするもよし、温泉三昧に雪見酒と粋に洒落込むもよし。たまにはダイビングを離れ、楽しくわいわいやりませんか！
車で来るも、新幹線で来るのもまた楽し。皆さんで誘い合わせてお出で下さい。

記

日時：２００３年1月14日～16日(前泊、延泊OK)
費用：宿泊12,000円（2食･宴会・温泉込）／1泊
交通：湯沢駅より送迎、詳細は幹事までお問い合わせください。

総合幹事：　323　真杉靖夫
TEL　0424-66-2637　Fax　0424-66-2637
現地お世話係：　047　竹腰憲江
TEL　0257-87-3561　Fax　0257-87-4684

アニラオツアー中止のお知らせ

大隅　照子

アニラオツアーは中止しました。昨年もそうなってしまいました。テロの影響です。何年も通っている者にとってはどうって事無いのですが、クラブツアーとして連れて行くには心配が大きすぎです。5人集まっていたのに御免なさい。又いつか世界が平和になってからご一緒しましょう。

バリサファリツアー中止のお知らせ

＊＊バリサファリもテロの影響で中止となりました。

熊倉正美

規約の一部改定について

SDCの規約の一部改定について、役員会で検討し1月の新年会の冒頭に臨時総会を開催し、審議いただくこととなりました。改正する条項案は下記の通りです。

第4条クラブはアマチュアとして個人的なダイビング愛好の集団であり、ダイビングに関する事故を含む一切の責任は個人に帰属します。

従って、当会は会員の全ての行為に対し責任を持ちません。又いかなる補償もいたしません。ツアーリーダー（当会の名称で実施するダイビング旅行の実施者を指します）はリーダーとしての全ての行為に対して責任を持ちません。又いかなる補償もいたしません。これは基本的かつ現実的な原則であり、会員はこれを承認した上で入会できます。

慶弔規定の廃止

慶弔規定を廃止し、経理規定に挿入します。従って経理規定の（4）を「4.慶弔による支出」と変更いたします。

経理規定の変更

第4条役員会において、役員の中から経理業務を担当する会計担当を、また会計業務を監査する会計監査役を。選任します。会計幹事は総会において、前年度の会計報告および新年度の予算計画を報告し、会計監査役は監査結果の報告を行い総会の承認を得るものとします。

第7条　本規定の改廃は役員会において決定し、総会の承認を得るものとします。

会長　関川　清一

パウダースノーで滑ろう！北海道スキー

参加者募集！

壮大なパノラマ３７コース/北海道で一押し！
「ルスツリゾートスキー場」
2月の北海道は、キュンキュンのパウダースノー。
「私、こんなに上手だったかな」と思えます。
日程：2月10日（月）～13日（木）3泊4日
宿泊：豪華に「ルスツタワー」
費用：約63,000円（飛行機代・朝夕食、リフト代込）
320　清原　れい子

表紙に寄せて

表紙のコガラシエビ、裏表紙のコマチコシオリエビ、ともに‘リロアン’（セブ島）で、ナイトダイブで撮ったものです。ライトの先に浮かび上がった時は、胸が高鳴りました。

ナイトダイブではエビ・カニ類が多く見られ、目玉が光っているのですぐわかります。フィルム１本、撮り終わりが浮上の時（？！）

リロアンは「安・近・楽」で、ホームグランドになっています。

468　通山　多恵子

SDCの紹介と入会のご案内

ＳＤＣはスキューバダイビングを共通の趣味とする任意の団体です。年齢は20～80歳代、地域は北海道から沖縄まで全国に拡がっています。ＳＤＣでは新年会や懇親会等の集いや年40回以上のダイビングツアー、雑誌の季刊発行等を行うと共に、ダイビング以外の趣味の会、懇親サークルなど様々な活動を通して会員相互の親睦に努めています。

会員数も350名を超え、更なる会の発展と充実を図って行きたいと思っております。自己責任で、常にスキルアップを心掛ける方なら、入会可能です。

又、会に賛同して下さる法人の賛助会員も求めています。入会希望の方は事務局まで連絡ください。

編集雑感

新年明けましておめでとう御座います。会員の皆様におかれましてはどのような新年をお迎えになったのでしょうか。

SDCも今年で創立10周年目を迎えます。上村前会長（現名誉会長）を中心に数十名でスタートした当クラブも会員番号508番を数えるまでになりました。ただ会が大きくなるだけでは意味が無く、クラブ活動の充実こそ肝要で、その為にはあらゆる機会を通じて会員通しの交流が円滑に図れるようにすること、より多くのツアーを企画することが求められております。

機会を捉えては、会員各位にツアーリーダーになって頂けるようお願いをしているのですが、リーダーの負担も何かと大きく、なかなか手を挙げてくださる方が少ないのが現状です。

今回、フリーウエイツーリストが賛助会員になってくだされ、同社の永吉さんが会員登録され、たくさんの同行ツアーを組んで頂きました。このツアーはご好意で同行費用等を含まない、割安価格に設定されております。是非ご参加ください。

今回皆様にアンケートをお願いし、多くの会員の皆様の声をお聞きすることが出来ました。

近いうち、アンケートの結果も皆様にお知らせし、少しでも皆様の要望に応えるよう、役員一同努力いたす所存です。

今年の新年会は１月２６日（日曜日）に渋谷エクセルホテル東急で開催いたします。皆様のより多くのご参加を、お待ち致しております。

（宇留賀　達雄）

次回会報１７号の特集テーマは「ダイビング以外に好きなこと、燃えるもの、趣味等」です。自由題の原稿も募集します。投稿してくださる方は１がつ15日までに連絡ください。

（大隅　照子）

SDC Japan　2003年1月　No.16号
エス・ディー・シー
〒215-0018　川崎市麻生区王禅寺東1-22-5　宇留賀方
TEL　090-3109-8221　FAX　044-969-3009
E-mail: urg529@a3.ocv.ne.jp
URL: Http:// Sdcj.Cside5.Com/
編集：宇留賀　達雄・大隅　照子・清原　れい子
発行：関川　清一　　価格300円